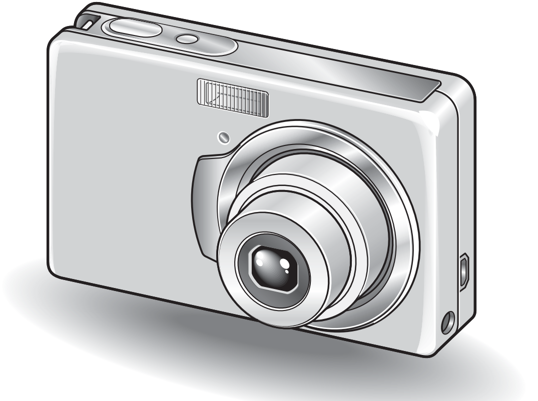
取扱説明書

SANYO

デジタルカメラ
品番 DSC-E7

Xacti



準　　備 ▶
基本操作 ▶
撮　　影 ▶
再　　生 ▶
オプション ▶
他の機器との接続 ▶
CD-ROMを使う ▶
付　　録 ▶

Li-ion
リチウムイオン電池は
リサイクルへ

この商品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

SDHC™

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

●取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

本書の読みかた

本書は、本製品の使いかたを以下のように分類して説明しています。

撮影をするまでに、しなければならないことや、ぜひ知っておいていただきたいことを説明しています。

撮影と再生の基本操作を説明しています。

撮影に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

再生に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

モニターの表示や操作音、さらにカメラの動作に関する設定のしかたを説明しています。

パソコンやプリンター、テレビへの接続のしかたを説明しています。

付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)の使いかたを説明しています。

カメラを使っていて困った状態になった時や仕様の詳細、アフターサービスについてお知りになりたい時に、お読みください。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

ヒント	もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項
注意!	特に注意していただきたい事項
[P　]	参照ページ

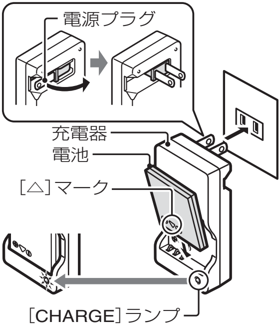
i 操作中に疑問に感じたり故障かな？と思った時は、「よくある質問 [P154]」と「困った状態になった時 [P159]」をご参照ください。

とにかく撮って、見てみよう

電池を装着する

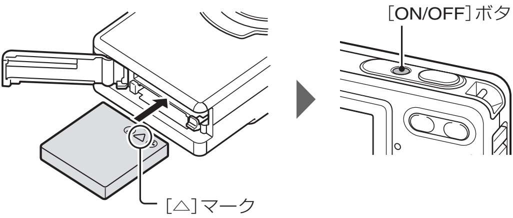
1 付属の充電器で電池を充電する

- 充電中は[CHARGE]ランプが赤色で点灯します。
- 充電が終わると、[CHARGE]ランプが消灯します。
- 充電時間は、約90分間です。



2 スロットカバーを開けて、電池を入れる

- スロットカバーは、カメラの側面にあります。
- [ON/OFF]ボタンを押すと、電源が入ります。



撮影する

1 **方向ボタンの[►]を押す**

- 撮影モードメニューが出ます。



2 **方向ボタンの [◄]/[►] を押して撮影モードを選ぶ**

3 **[SET] ボタンを押す**

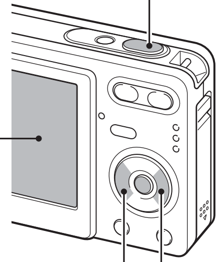
- 撮影モードは、モニターの左上にアイコンで表示します。

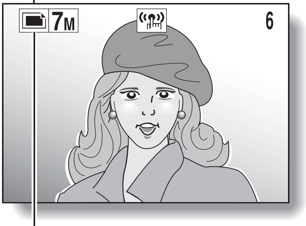
4 **シャッターボタンを押す**

1枚撮影の場合：
静止画を撮影します。

連写撮影の場合：
撮影を開始します。シャッターボタンを離すと、撮影を終了します。

動画クリップ撮影の場合：
撮影を開始します。もう一度シャッターボタンを押すと、撮影を終了します。





：1枚撮影モード
：連写撮影モード
：動画クリップ撮影モード

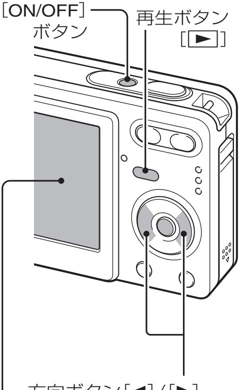
＜撮影モード＞

再生する

静止画再生

1 再生ボタン[▶]を押す

- 再生画面に切り替わります。
- 方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、他の画像が見れます。
- 再生ボタン[▶]を押すと、撮影画面に戻ります。



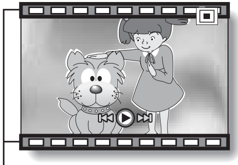
動画クリップ再生

1 再生ボタン[▶]を押す

- 再生画面に切り替わります。
- 方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、再生する動画クリップを出してください。
- 動画クリップには、画面上下に動画クリップマークが出ます。

2 [SET] ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- 再生ボタン[▶]を押すと、撮影画面になります。



<動画クリップ再生画面>

使い終わったら・・

[ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

もくじ

■準備

■基本操作

■撮影

もくじ(つづき)

■再生

■オプション

■他の機器との接続

■CD-ROMを使う

■付録

使いかた早見もくじ

このカメラには、便利な機能があります。「思いどおりの写真を撮りたい」「いろいろな方法で画像を見たい」という時には、このもくじを参考にして目的の操作を探してください。

撮影

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
暗い場所で撮影する ►露出を補正する[P79] ►フラッシュを設定する[P59] ►シーン機能を使う（夜景・花火・ランプモード）[P53]		
	カメラの感度を上げる ►ＩＳＯ感度を設定する[P77]	
人物を撮影する ►シーン機能を使う（ポートレートモード・夜景モード・フェイスチェイサーモード）[P53] ►フラッシュを設定する（赤目軽減）[P59]		
風景を撮影する ►シーン機能を使う（風景モード）[P53]		
自分も撮影する ►セルフタイマーを設定する[P61]		
	明るく/暗く撮影する ►露出を補正する[P79]	**一部分の明るさだけを測って撮影する** ►測光方式を設定する[P76] **カメラの感度を調整する** ►ＩＳＯ感度を設定する[P77]
	色を変えて撮影する ►シーン機能を使う（モノクロ・セピア）[P53]	**自然な白に撮影する** ►ホワイトバランスを設定する[P78]

使いかた早見もくじ（つづき）

再生

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
とりあえず再生をする ►動画クリップ再生をする[P50]	**再生音量を設定する** ►サウンドを設定する[P103]	
►静止画像を再生する[P40]	**画像データを探す** ►9画面マルチ再生をする[P41] ►フォルダを選んで再生する[P43] ►クイックスクロール再生をする[P42] **画像の一部を大きく表示する** ►拡大（ズーム）表示をする[P44]	**ピント合わせの状態をチェックする** ►ズームジャンプ再生をする[P45] **表示の角度を変える** ►画像を回転表示する[P85]
連続して再生する ►スライドショー再生をする[P98]		
モニターの表示を明るく/暗くする ►モニターの明るさを設定する[P36]		
テレビで再生する ►テレビに接続する（再生のしかた）[P118]		**TVへの出力方式を設定する** ►ＴＶ方式を設定する[P106]

データの管理/加工

基本的な使いかた　便利な機能　さらに使うには

画像を補正する

►コントラストを補正する[P87]

►赤目現象を補正する[P89]

内蔵メモリーとカードの間でファイルをコピーする

►ファイルをコピーする[P91]

ファイルを消す

►ファイルを消去する[P46]

大切な画像を保護する

►プロテクト（消去禁止）を設定する[P83]

カードを初期化（フォーマット）する

►カード･内蔵メモリーを初期化する[P111]

印刷枚数や日付印刷の設定をする

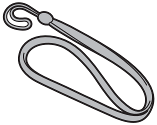
►プリントを設定する[P93]

撮影した時の情報を見る

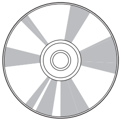
►画像情報を表示する（インフォ画面）[P99]

付属品を確認する

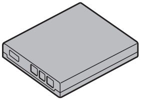
●ハンドストラップ：1 本



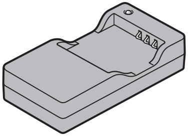
● CD-ROM
（SANYO Software Pack）1 枚



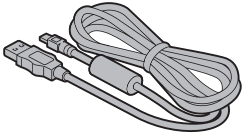
●リチウムイオン電池：1 個



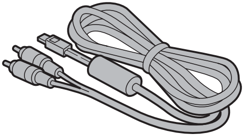
●充電器



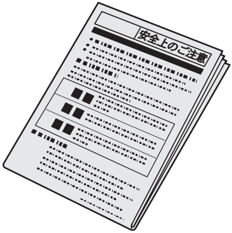
●専用 USB 接続ケーブル：1 本



●専用AV接続ケーブル：1本



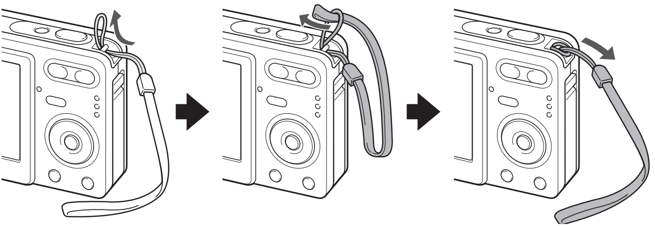
●安全上のご注意（安全注意説明書）
※必ずお読みください。



●簡単操作ガイド



ハンドストラップの付けかた



別売品

- **ACアダプター(品番：VAR-G8)**
  本機に接続できる専用のACアダプターです。

- **リチウムイオン電池(品番：DB-L20)**
  付属品と同じ、リチウムイオン電池です。

付属品を確認する（つづき）

このカメラで使えるカードについて

このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- **SDメモリーカード**
- **マルチメディアカード**

カードの表記について

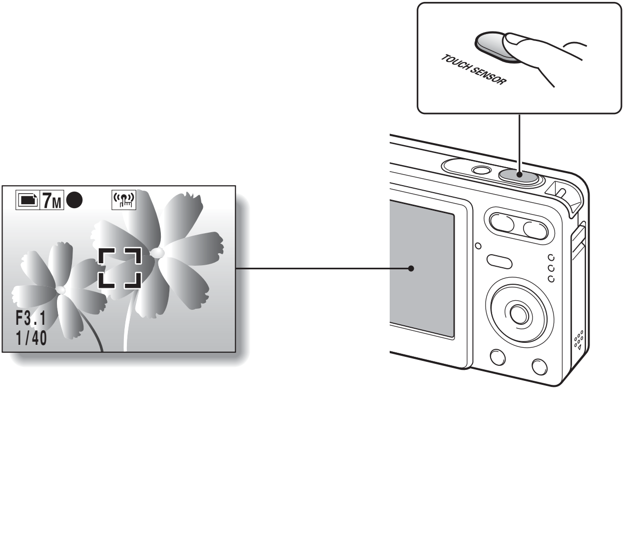
- 本書では、このカメラで使用できるSDメモリーカードやマルチメディアカードを「カード」と表記します。
- 本書で掲載しているカードのイラストはSDメモリーカードですが、装着・取りはずしなどは、マルチメディアカードの場合でも同じ操作でできます。

このカメラの楽しみかた

素早いピント合わせや大型モニターを活かした分かりやすいガイダンス表示、さらに豊富なシーン機能など、デジタルカメラならではの機能を数多く搭載しております。

素早いピント合わせでシャッターチャンスに強い－タッチフォーカス－ [P69]

シャッターボタンに触れるだけで、自動的にピントを合わせるタッチセンサー付きシャッターボタン(タッチフォーカス)を搭載。素早いピント合わせで、シャッターチャンスを逃しません。



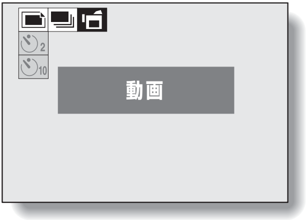
豊富なシーン機能

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。



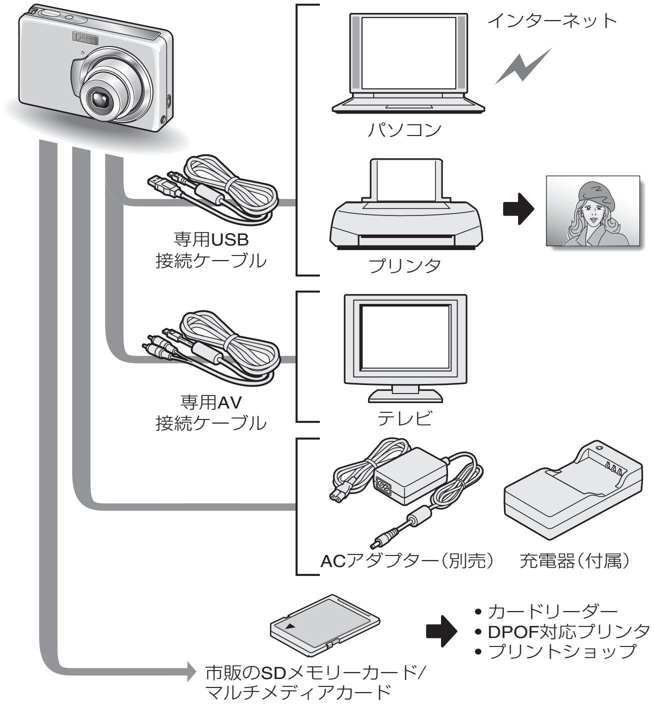
素早いモード切り替え

静止画から動画、連写への撮影モード切り替えは、ボタン操作のワンアクションで行えます。



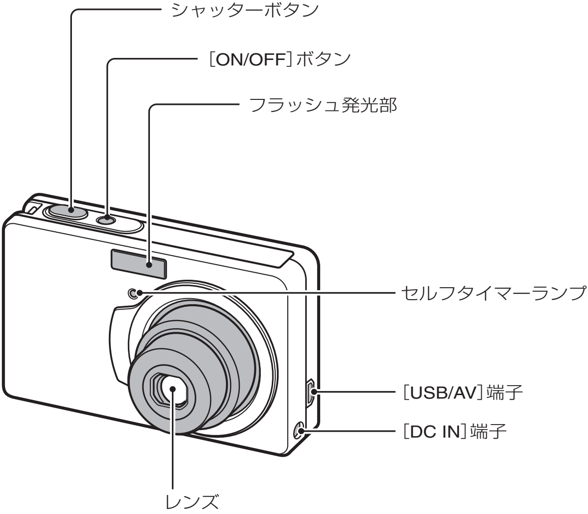
システムマップ

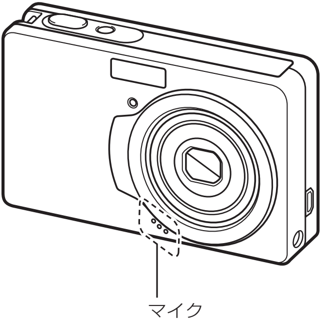
付属品を使うと、カメラをパソコンやプリンタ、テレビに接続することができます。パソコンに接続すると、撮影した画像をパソコンのハードディスクなどにコピーすることができます。プリンタに接続すると、撮影した画像を直接プリントすることができます。また、カードを使うと撮影した画像をプリントショップでプリントすることもできます。



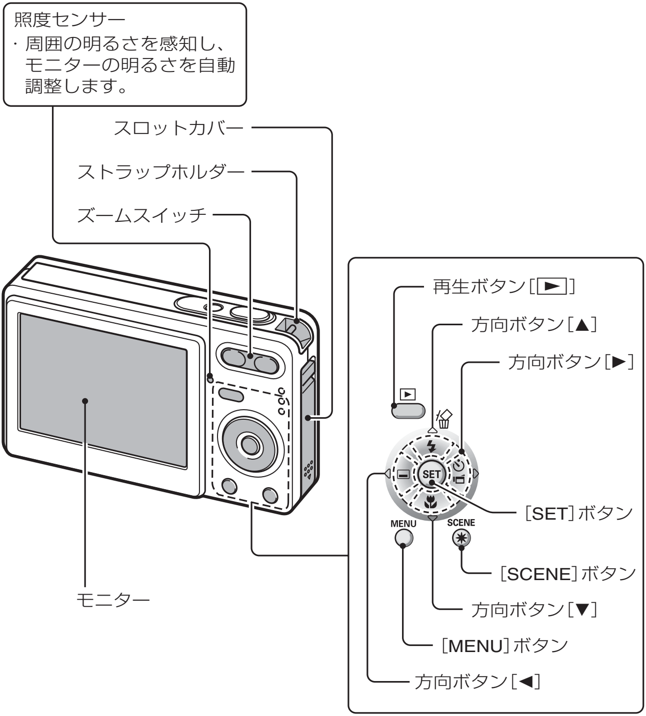
各部の名前

前面

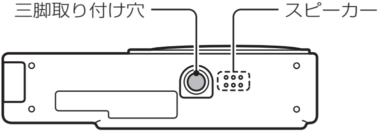

シャッターボタン
［ON/OFF］ボタン
フラッシュ発光部
セルフタイマーランプ
［USB/AV］端子
［DC IN］端子
レンズ


マイク

後面


照度センサー
・周囲の明るさを感知し、モニターの明るさを自動調整します。
スロットカバー
ストラップホルダー
ズームスイッチ
モニター
再生ボタン[[►]]
方向ボタン[▲]
方向ボタン[►]
[SET]ボタン
[SCENE]ボタン
方向ボタン[▼]
[MENU]ボタン
方向ボタン[◄]
SET
MENU
SCENE

底面


三脚取り付け穴
スピーカー

電池を充電する

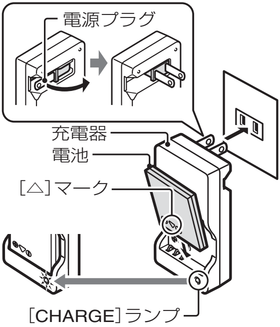
付属の電池を充電します。

1 電池を充電器の電池取り付け部に装着する

- 電池の[△]マークの方向に取り付けます。

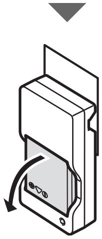
2 充電器の電源プラグを起こし、電源コンセント(AC100V)に差し込む

- 充電が始まります。
- 充電中、[CHARGE]ランプは赤色で点灯します。



3 [CHARGE]ランプが消灯したら充電器から電池をはずす

- 充電器は、使い終わったら電源コンセントから抜いてください。



ヒント

- 充電時間は約90分です。

電池の充電について

付属または別売の電池は、ご使用の前に必ず充電してください。
電池の充電には、付属の充電器を使います。
電池を初めて使う場合や、電池残量が少なくなったときは、充電してください(「電池残量をチェックする [P116]」)。

- 充電中、充電器や電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。

充電中、テレビやラジオに雑音が入るときは？

- テレビやラジオから離れた場所で充電してください。

充電時の周囲温度について

- 充電時の周囲温度は、約10℃～35℃に保たれていることをおすすめします。約0℃以下では、電池の特性により、十分に充電ができない場合があります。
- 電池が高温になると、充電時間が長くなることがあります。

次のような電池も充電してから使用してください

- 長期間使用していない電池
- 新しい電池の使い始め

リサイクルについて

Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルへ

- このカメラには、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リチウムイオン電池の交換および、ご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。
- ご使用済みのリチウムイオン電池は、短絡防止のため、端子に絶縁テープを張って、リサイクルにご協力ください。

電池を充電する(つづき)

[CHARGE] ランプについて

電池と充電器の状態は、[CHARGE] ランプで確認できます。異常は点滅表示でお知らせしますので、下記にしたがって点検・操作してください。

CHARGEランプ	消　灯	**正しく接続できていない** ●充電するときは、電源コードの電源プラグを電源コンセントに、一方のプラグを充電器の電源ソケットに差し込む[P19]。 ●電池を装着していない。または電池を正しく装着していない[P19]。 **充電終了**
	赤点灯	**充電中**
	赤点滅	**電池または充電器の異常** ●すぐに電池を取りはずしてください。 ●異常な電池は使用しないでください。(電池の寿命が尽きたと考えられます。)

内蔵バックアップ用電池について

●本機は、日付・時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、電池は約2日間装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

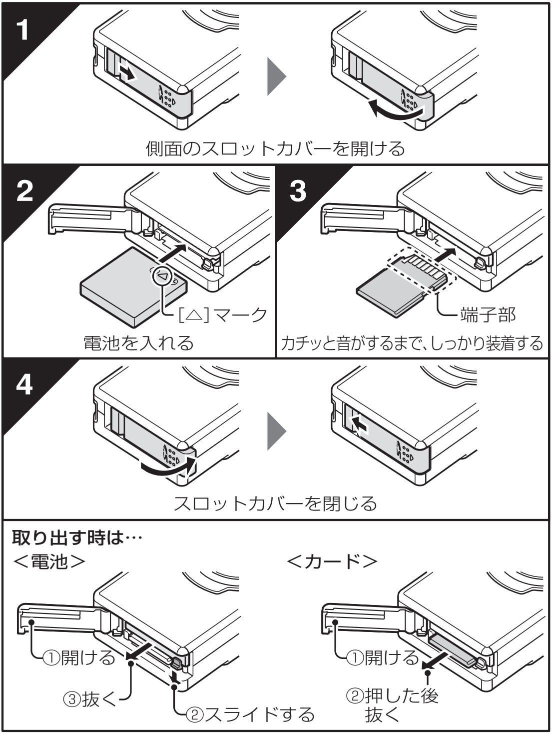
長期間使用しないときは電池を取りはずす

●電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、本機を長期間使用しないときは電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池を取りはずすと、日付・時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアする場合がありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

電池とカードをセットする

1 電池とカードを入れる

- カードは、本機で初期化(フォーマット)[P111]してからご使用ください。
- 電池やカードは、向きに注意して入れてください。



電池とカードをセットする(つづき)

注意!

カードの取り出しにご注意

- カードは無理に抜かないでください。
- パソコンやプリンタに接続していて、セルフタイマーランプが速い周期で点滅している時は、絶対にカードを取り出さないでください。カード内のデータを破損するおそれがあります。

カードの着脱が完全に終わるまでカードから指を離さない

- カードを完全に着脱する前にカードから指を離すと、カードが勢いよく飛び出し、カードの紛失やカードが目に当たってけがをする場合があります。

ヒント

カードがなくても撮影できます

- カードを装着するとカードで撮影/再生ができ、カードを装着しない場合は内蔵メモリーで撮影/再生ができます。また、カードを装着しないで電源を入れると、モニターに内蔵メモリーアイコン INT が出ます。

電源を入れる／切る

電源の入れかた

撮影をする場合

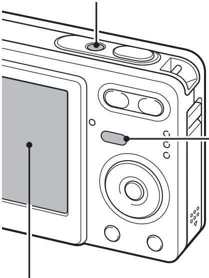
1 **[ON/OFF]ボタンを押す**

- 電源が入ります。
- 電源を入れると、前回に電源を切った時の撮影モードになります。

再生をする場合

1 **再生ボタン[►]を約1秒以上押す**

- モニターに再生画面が出ます[P40・50]。



電源の切りかた

1 **[ON/OFF]ボタンを押す**

- 電源が切れます。

<再生ボタン[►]を押して電源を入れた場合は>

- 再生ボタン[►]または[ON/OFF]ボタンを押すと、電源が切れます。

電源を入れる／切る（つづき）

オートパワーオフ機能について

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約 1 分間、再生時:約 3 分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「オートパワーオフ機能」が備わっています。

- オートパワーオフ機能が働いて電源が切れた場合は、[ON/OFF]ボタンを押して電源を入れてください。
- 電源が切れるまでの時間は、変更することができます[P107]。
- 専用USB接続ケーブルでカメラとパソコンまたはプリンタを接続している場合はオートパワーオフ機能が働かず、約12時間後に電源が切れます。

ヒント

⏲?アイコンが出る？

- このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付·時刻の設定[P26]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため、⏲?アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

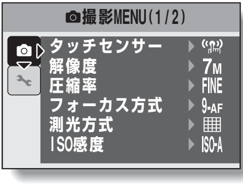
日付・時刻を設定する

このカメラは撮影した日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

[例]：2006年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れ、[MENU]ボタンを押す

- 撮影MENUが出ます[P66]。



2 方向ボタンの[▼]を押してタグを選んで[▶]を押す

- オプションMENUが出ます。



3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して[日付時刻]を選び、[SET]ボタンまたは方向ボタンの[▶]を押す

- 日付時刻画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定する時は、以降の操作をしてください。
- オプションMENUに戻る時は、[MENU]ボタンを押してください。



日付・時刻を設定する（つづき）

4 日付・時刻を設定する



❶方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、年の設定を変更する

・同様にして月表示、日表示を選び、「2006年12月24日」に設定してください。



❷方向ボタンの[►]を押して時表示を選ぶ

❸方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、時刻の設定を変更する



❹方向ボタンの[►]を押して、年月日表示を選ぶ

❺方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、日付表示順序の設定を変更する

・[▼]を押すと、日付表示順序が以下のように変わります。

→年/月/日→月/日/年→日/月/年→表示なし

・[▲]を押すと、逆に切り替わります。

5 [SET]ボタンを押す

- 日付・時刻の設定が終わり、オプションMENUに戻ります。
- オプションMENUは、[MENU]ボタンを押すと消えます。

ヒント

- このカメラは電池を交換する時に内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付・時刻の設定をクリアする場合があります（バックアップ時間は最長で約7日間）。電池交換後や撮影前は念のため、時刻表示を確認されることをおすすめします（操作1～3）。

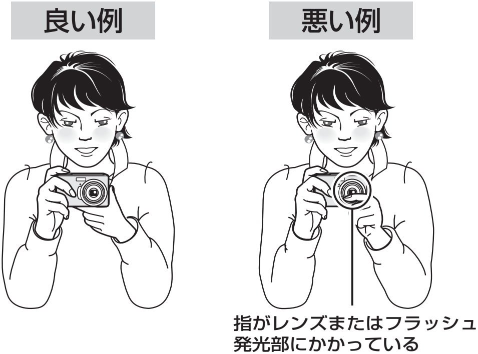
日付・時刻を修正するには

- 操作4で修正したい表示を選び、設定を変更してください。

撮影の前に

カメラの構えかた

カメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。



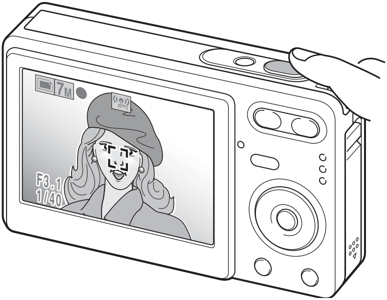
レンズやフラッシュ発光部に、指やストラップがかからないように注意してください。

ヒント

- 静止画像は、再生時に回転することができます[P85]。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

タッチセンサー(タッチフォーカス)について

シャッターボタンに触れるだけでピント合わせ(フォーカスロック)を行います。あとはシャッターボタンを静かに押すだけで、しっかりとピントの合った撮影が可能です。
また、撮影 MENU[P67] が出ている時はタッチセンサーが OFF になるので、使いやすい機能になっています。
さらに、半分ボタンを押してピントを合わせ、続いてシャッターボタンを押し込んで撮影するというシャッターボタン動作に変更することも可能です [P69]。



撮影の前に（つづき）

オートフォーカス（自動ピント合わせ）機能について

このカメラのオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。オートフォーカス機能でピントが合わない場合は、フォーカスレンジを設定して撮影してください[P63]。

■オートフォーカスの苦手な被写体

次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

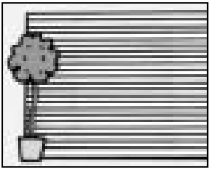
● **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体、または、被写体や撮影場所が暗い**

撮影のしかた：被写体と同じ距離にある、コントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。



● **縦線のない被写体**

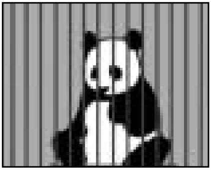
撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。



次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わない時があります。

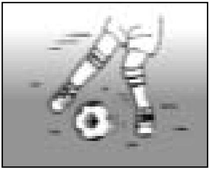
● **遠いものと近いものが共存する被写体**

撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。



● **動きの速い被写体**

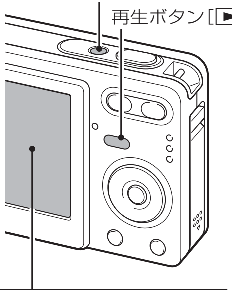
撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。



撮影の前に（つづき）

撮影/再生モードを切り替える

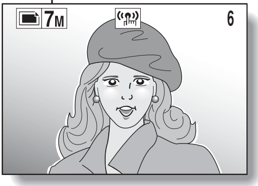
撮影をする撮影モードと、撮影した画像を再生する再生モードを切り替えます。



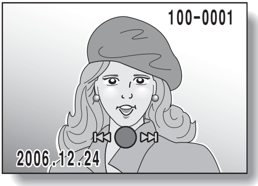
1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れる

2 再生ボタン[►]を押す

- 再生ボタンを押すたびに、撮影モードと再生モードが切り替わります。



＜撮影モード＞



＜再生モード＞

ヒント

再生モードで電源を入れるには

- 再生ボタン[►]を約1秒以上押すと、再生モードで電源が入ります。

撮影モードを切り替える

このカメラには 1 枚の静止画を撮影する「1 枚撮影モード」と動画クリップを撮影する「動画クリップ撮影モード」、静止画を連続撮影する「連写撮影モード」があります。

1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れる

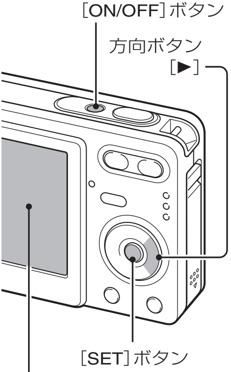
2 方向ボタンの[▶]を押す

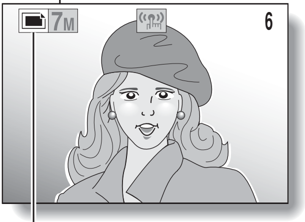
- 撮影モードとセルフタイマーを設定する画面が出ます。

3 方向ボタンの[▶]を押して撮影モードを選ぶ

4 [SET]ボタンを押す

- 撮影モードを設定しました。
- 撮影モードの設定は、モニター左上にアイコンで表示します。





<撮影モード>

- ：1枚撮影モード
- ：連写撮影モード
- ：動画クリップ撮影モード

撮影の前に(つづき)

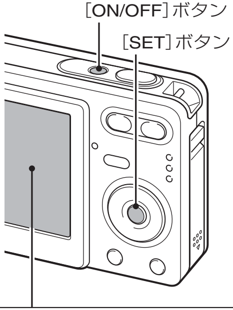
表示モードを切り替える

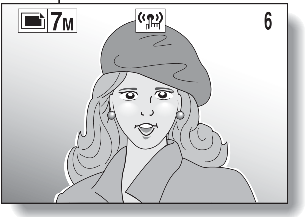
撮影モードのモニター表示には、撮影の設定状態を確認しながら撮影できる「設定表示モード」と、被写体がよく見えるように撮影の設定状態を表示しない「ノーマル表示モード」があります。

1 [ON/OFF]ボタンを押して、電源を入れる

2 [SET]ボタンを押す

- [SET]ボタンを押すたびに、設定表示モードとノーマル表示モードが切り替わります。





<設定表示モード>



<ノーマル表示モード>

モニターの明るさを設定する

モニターの明るさを変えることができます。周囲の明るさに合わせて、見やすい明るさに設定してください。

1 [ON/OFF]ボタンを押して、電源を入れる

2 [MENU]ボタンを約1秒以上押す

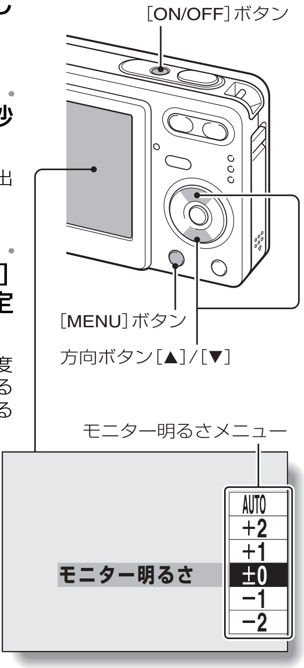
- モニター明るさメニューが出ます。

3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、明るさを設定する

- [AUTO]に設定すると、照度センサー[P18]が周囲の明るさを感知し、モニターの明るさを自動的に調整します。

4 [MENU]ボタンを押す

- モニターの明るさを設定して、モニター明るさ画面が消えます。



ヒント

- オプションMENUの[モニター明るさ]を選んでも、モニターの明るさを設定することができます[P102]。

撮影の前に(つづき)

撮影のヒント

カメラから出る音(サウンド)を消したい

● シャッターボタンや[MENU]ボタン、[SET]ボタンなどを押した時に鳴る音を消すことができます[P103]。

撮影した画像の保存先は？

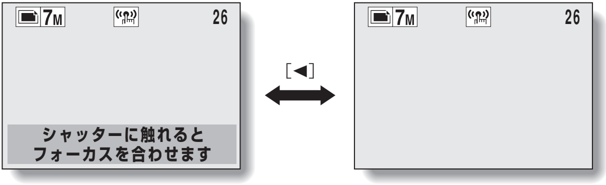
● すべて、内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードに保存します。
● カードを装着している場合はカードに、カードを装着していない場合は内蔵メモリーに保存します。

逆光で撮影すると…

● 逆光で撮影した時は、CCDの特性上、光の筋(スミア)やゴースト模様(フレア現象)が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

ガイド表示をON/OFFする

● 方向ボタンの[◀]を押してください。方向ボタンの[◀]を押すたびに、ガイド表示のON/OFFが切り替わります。



＜ガイド表示ON＞　　＜ガイド表示OFF＞

静止画撮影・再生をする

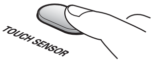
静止画撮影の機能には、1 度シャッターボタンを押すと 1 枚の静止画像が撮影できる 1 枚撮影と 1 度シャッターボタンを押すと連続して静止画像が撮影できる連写撮影があります。連写撮影については、48 ページを参照してください。

1枚撮影をする

1 1枚撮影モードにする [P34]

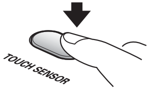
2 シャッターボタンに指を乗せる

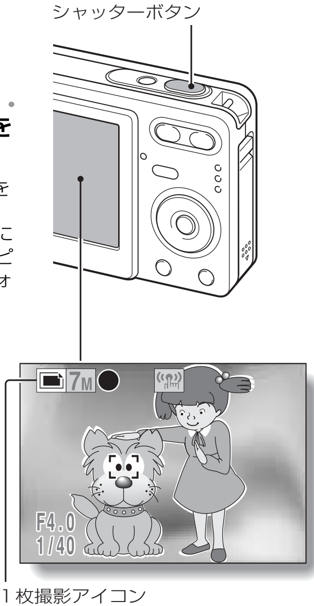
- タッチセンサー[P69]をONに設定している場合は、シャッターボタンに触れた時にオートフォーカスが働き、ピント合わせを行います(フォーカスロック)。



<タッチセンサーがOFFの場合>

- シャッターボタンを半分だけ押すと、オートフォーカスが働いてピント合わせを行います。

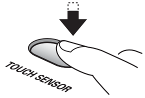




＜1 枚撮影画面＞

静止画撮影・再生をする(つづき)

3 シャッターボタンを静かに押す



- シャッターボタンは、カメラがぶれないよう静かに押し込んでください。
- シャッターボタンを押している間､撮影した瞬間の画像がモニターに出ます(ポストビュー)。

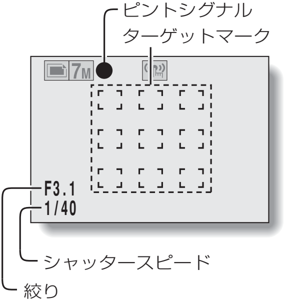
4 シャッターボタンから指を離す

- 撮影した画像を保存します。

ヒント

フォーカス方式[P74]を9点測距 9-AF に設定している場合

- ピントが合った位置には、ターゲットマーク⌜⌟が出ます。
- ピントを合わせる位置は、撮影範囲の9箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。
- 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は､大きなターゲットマークが出ます。



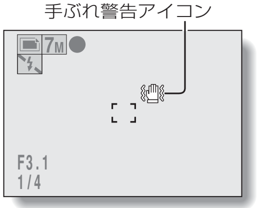
ピントシグナルについて

- ピントが合うと緑色、ピントが合っていない場合は赤色で点灯します。

シャッタースピードと絞り値が出ます

- モニターにはシャッタースピードと絞り値が出ます。撮影の参考にしてください。

手ぶれ警告アイコンが出たら?



- 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このような時は、三脚でカメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光[P59]に設定してください。
- シーン機能の花火[花火アイコン]撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

静止画像を再生する

1 枚撮影した画像も連写撮影した画像も、再生方法は同じです。

5 再生ボタン[▶]を押す

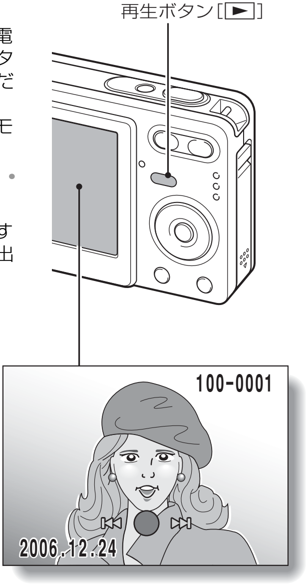
- 再生ボタン[▶]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[▶]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した静止画が、モニターに出ます。

6 他の画像を出す

- 方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、前後に撮影した画像が出ます。
  前の画像を出す：[◀]を押す
  後の画像を出す：[▶]を押す
- 再生ボタン[▶]を押すと、撮影画面になります。

<再生ボタン[▶]を押して電源を入れた場合は>

- 再生ボタン[▶]または[ON/OFF]ボタンを押すと、電源が切れます。



操作が終わったら

- [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

ヒント

音声メモ[P55]を付けた静止画は？

- シャッターボタンを押すと、音声メモを再生します。

静止画撮影・再生をする（つづき）

9画面マルチ再生をする

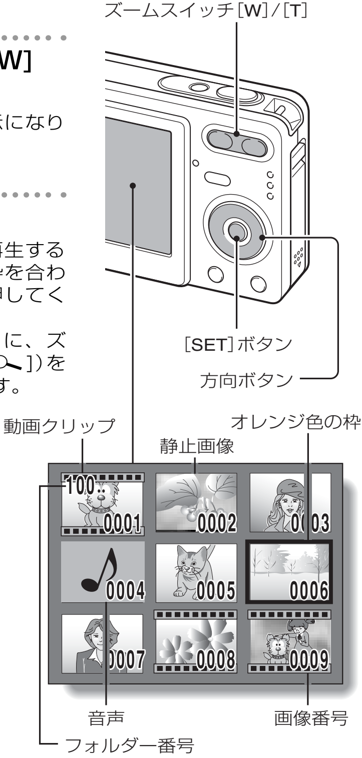
1 再生ボタン[▶]を押す

2 ズームスイッチの[W]（[▦]）を押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

3 再生する

- 方向ボタンを押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、[SET]ボタンを押してください。
  [SET]ボタンの代わりに、ズームスイッチの[T]（[🔍]）を押しても、再生できます。



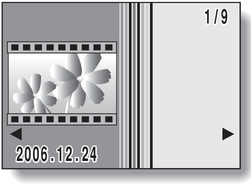
クイックスクロール再生をする

多くの画像の中から目的の画像をすばやく探す場合に便利です。

1 9画面マルチ再生をする [P41]

2 ズームスイッチの[W]（▦）を押す

- クイックスクロール再生画面が出ます。
- 方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、前後の画像が再生できます。
- 方向ボタンの[▲]/[▼]を押すと、32個づつ画像を送りながら再生できます。



3 再生する画像を表示し、[SET]ボタンを押す

- 選んだ画像を画面いっぱいに表示します。

静止画撮影・再生をする（つづき）

フォルダを選んで再生する

複数のフォルダの中から目的の画像を探したり、スクリーンキャプチャー [P151] で記録した画像を探す場合に便利です。

1 クイックスクロール再生をする[P42]

2 ズームスイッチの[W]（ ）を押す

- フォルダ表示画面が出ます。



3 再生するフォルダを選び、[SET]ボタンを押す

- 選んだフォルダの画像が出ます。
- この状態でズームスイッチの[W]（ ）を押すと、選んだフォルダの画像を9画面マルチ表示します。また、9画面マルチ表示の状態からズームスイッチの[W]（ ）を押すと、クイックスクロール再生画面に戻ります。

ヒント

スクリーンキャプチャー[P151]で記録した画像について

- スクリーンキャプチャーで記録した画像は、「***_INFO」というフォルダに保存しています（「***」には、番号が入ります）。

拡大(ズーム)表示をする

1 拡大表示する画像を表示する

2 ズームスイッチの[T]([ ])を押す

- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- 方向ボタンを押すと、表示部分が移動できます。

拡大する：ズームスイッチの[T]([ ])を押すごとに倍率が上がります。

元に戻す：ズームスイッチの[W]([ ])を押すごとに倍率が下がります。

- [SET]ボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。



ヒント

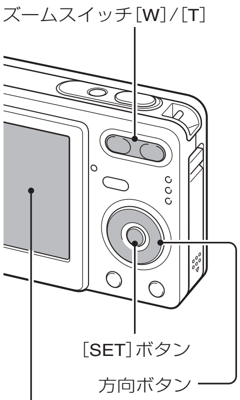
拡大した画像が保存できます

- 拡大表示している時にシャッターボタンを押すと、拡大表示状態の画像を静止画として保存できます。

静止画撮影・再生をする(つづき)

ズームジャンプ再生をする

静止画の部分を指定して拡大表示し、ピントが合っているかを確認することができます。



1 ズームジャンプ再生する静止画を表示する

2 [SET]ボタンを押す

- 画像を拡大表示します。
- この状態でピンボケになっていなければ、およそのピントは合っています。

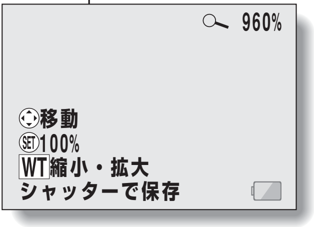
3 方向ボタンを押して拡大する部分を表示して、ズームスイッチの[T]([○～])を押す

- 表示していた部分をさらに大きく表示します。

拡大する：ズームスイッチの[T]([○～])を押すごとに倍率が上がります。

元に戻す：ズームスイッチの[W]([▦])を押すごとに倍率が下がります。

- [SET]ボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。



ファイルを消去する

ファイルの消去方法には、選んだファイルを1つずつ消去する方法と、すべてのファイルを一括して消去する方法があります。

1 カードのファイルを消去する場合はカードを装着し、内蔵メモリーのファイルを消去する場合はカードを取り出す

2 再生モードにし、方向ボタンの[▲]を押す



- 消去方法を選ぶ画面が出ます。

[全ファイル]：
すべてのファイルを消去します。

[1ファイル]：
表示しているファイルを消去します。

3 ファイルを消去する

＜全ファイル消去する場合＞

❶方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、すべてのファイルを消去しても良いかを確認する

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[全ファイル]を選ぶ

❸[SET]ボタンを押す
・消去を確認する画面が出ます。消去しても良ければ[はい]を選んで[SET]ボタンを押してください。消去が終わると、[画像がありません]表示が出ます。

＜1ファイル消去する場合＞

❶方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、消去するファイルを表示する

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[1ファイル]を選ぶ
・1ファイルずつ消去する場合、消去確認画面が出ません。操作❸で[SET]ボタンを押す前に、よくファイルを確認してください。

❸[SET]ボタンを押す
・表示中のファイルを消去します。
・続けてファイルを消去する場合は、操作❶～❸を行ってください。

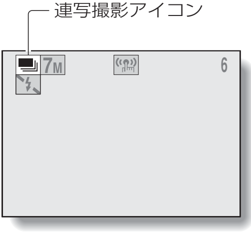
注意!

プロテクトがかかっている画像は？

● プロテクトがかかっている画像は、消去できません。消去する場合は、プロテクトを解除してから消去してください[P83]。

連写撮影をする

シャッターボタンを押すと、連続して静止画が撮影できます。



1 連写撮影モードにする [P34]

- 解像度10M に設定している場合は、自動的に 7M に設定を変更します。

2 シャッターボタンを押して、撮影する

- 連続撮影を開始します。

<最大連写撮影枚数のめやす>

解像度	最大撮影枚数
7M	約6枚
4M	約3枚
2M	約7枚
0.3M	約37枚

※圧縮率をFINEに設定した場合の枚数です。
※最大連写枚数は、被写体によって異なります。

- 連写中にシャッターボタンを離すと、途中で撮影を終了します。

ヒント

連写撮影時のピント合わせについて

- 連写撮影では、オートフォーカス機能はフォーカスロックした時に働き、ピントを固定します。
- 解像度10M には設定できません。10M に設定していた場合は、自動的に 7M に変更します。

セルフタイマーやフラッシュ撮影はできる？

- 連写撮影時に、セルフタイマーやフラッシュは使えません。
- 以下のシーン機能は設定できません。

動画クリップ撮影・再生をする

動画クリップ撮影をする

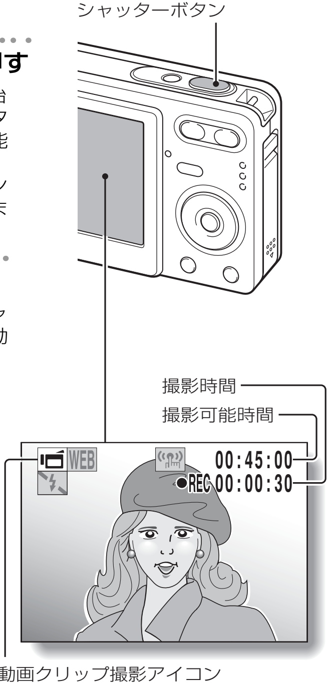
1 動画クリップ撮影モードにする[P34]

2 シャッターボタンを押す

- 動画クリップ撮影を開始します。撮影中はモニターに撮影時間と撮影可能時間が出ます。
- 撮影中、シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

3 撮影を終了する

- 動画クリップ撮影中にシャッターボタンを押すと、動画クリップ撮影を終了し、画像を保存します。



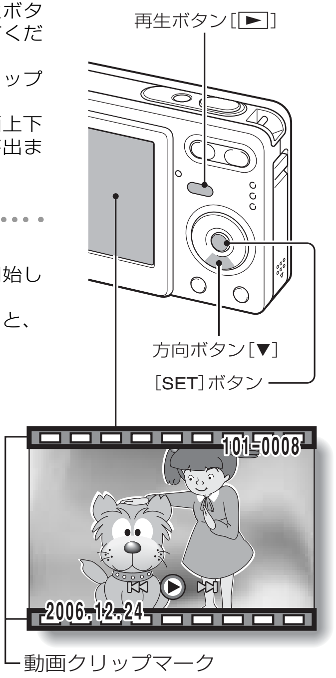
動画クリップ再生をする

4 再生ボタン[►]を押す

- 再生ボタン[►]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[►]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した動画クリップが、モニターに出ます。
- 動画クリップには、画面上下に動画クリップマークが出ます。

5 [SET]ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- 方向ボタンの[▼]を押すと、再生を中止します。



動画クリップ撮影・再生をする(つづき)

再生操作一覧

こうするには		こうします
再生中止		再生中に方向ボタンの[▼]を押す
一時停止		再生中に[SET]ボタンを押す 倍速/スロー再生中は方向ボタンの[▲]を押す
静止画抜き出し		一時停止中にシャッターボタンを押す
コマ送り再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[▶]を押す
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◀]を押す
スロー再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[▶]を押し続ける
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◀]を押し続ける
倍速再生	順方向	順方向再生中に方向ボタンの[▶]を押す ※方向ボタンの[▶]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 方向ボタンの[◀]を押すと、再生速度が元に戻ります。
	逆方向	順方向再生中に方向ボタンの[◀]を押す ※方向ボタンの[◀]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 方向ボタンの[▶]を押すと、再生速度が元に戻ります。
通常再生に戻す		[SET]ボタンを押す
音量調整		**大きくする**：再生中にズームスイッチの[T]を押す **小さくする**：再生中にズームスイッチの[W]を押す

操作が終わったら

- [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

注意!

音声が出ない？

- コマ送り、スロー再生、倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

注意!

動画クリップは、データ量が多くなります

- 撮影したデータをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラのモニターでは、正常に再生できます)。

カード残量があるのに動画クリップ撮影が止まった?

- お使いのカードによっては、カードに残量があっても撮影を終了する場合があります。
- 動画クリップ撮影をする場合は、なるべく書き込み速度が速いカードをお使いください。

シーン機能を使う

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

1 撮影モードにし[P33]、[SCENE]ボタンを押す

- シーンに合わせた設定を選ぶ画面が出ます。

2 方向ボタンを押して設定を選ぶ



<例：1枚撮影モード>

<各設定の特徴>

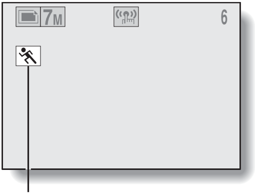
シーン設定	特　徴	撮影モード設定		
AUTO オート	カメラが最適な状態に設定します。	○	○	○
スポーツ	動きの速い被写体の一瞬を捉えることができます。	○	○	○
ポートレート	背景をぼかして、人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます。	○	○	○
風景	遠くの風景がきれいに撮影できます。	○	×	○
夜景	バックの夜景を活かしながら、人物の撮影ができます。	○	×	○
花火	打ち上げ花火を撮影します。	○	×	○
ランプ	小さな光だけで撮影します。	○	×	○

シーン設定	特　徴	撮影モード設定		
音声付静止画	1枚の静止画を撮影し、音声メモを付けます。	○	×	×
手ぶれ軽減	手ぶれを軽減します。	○	○	×
ベストショット	設定を変えながら、4枚の静止画を連続して撮影します。	○	×	×
フェイスチェイサー	顔にピントや明るさを合わせて撮影します。	○	○*	○*
モノクロ	モノクロ(白黒)撮影ができます。	○	○	○
セピア	色調をセピアカラーにした撮影ができます。	○	○	○
コントラスト	画像の明暗を強調します。	○	○	○
ビビッド	画像の彩度を強調します。	○	○	○

○：設定できます。　×：設定できません。
＊：記録中は無効です。

3 [SET]ボタンを押す

- シーン機能を設定しました。
- 撮影画面に戻ります。
- シーン機能の設定はモニターに出ます。



シーン機能の設定
（AUTO は出ません）

シーン機能を使う（つづき）

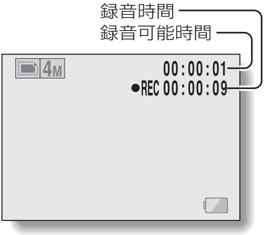
音声付き静止画撮影をする

シーン機能の音声付き静止画 では、撮影した静止画に最大約10 秒間の音声を付けることができます。この音声を「音声メモ」といいます。

1 **シーンに合わせた設定を選ぶ画面[P53]で を選び[SET]ボタンを押す**

2 **シャッターボタンを押して、撮影してから、マイクに向かってしゃべる**

- 録音中は、マイクを指などでふさがないように注意してください。
- 録音を開始します。録音中はモニターに録音時間と録音可能時間が出ます。
- 音声メモは、最大約10秒間録音できます。
- 10秒以内に録音を終わる場合は、シャッターボタンを押してください。



ベストショット撮影のしかた

1 **1枚撮影モードにしてシーン機能を設定する画面[P53]からベストショットアイコンを選び、[SET]ボタンを押す**

- 解像度10Mに設定している場合は、自動的に7Mに設定を変更し、撮影します。

2 **シャッターボタンを押す**

- 設定を変えながら、4枚の静止画を連続して撮影します。
- 撮影後、撮影した4枚の静止画がモニターに出ます。



3 **方向ボタンを押して、保存する画像にオレンジ色の枠を合わせて選ぶ**

- [SET]ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。
- 大きく表示した状態で、方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、前後の画像を表示することができます。

<4枚とも保存する場合は>

- 撮影した4枚の画像を表示している状態で、[MENU]ボタンを押してください。

4 **保存する画像を大きく表示し、[はい]を選んで[SET]ボタンを押す**

- 表示中の画像を保存し、残りの画像は消去します。



シーン機能を使う（つづき）

フェイスチェイサー撮影のしかた

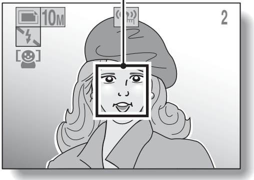
顔の部分が最適な状態で撮影できるよう、カメラが自動的にピントや露出を合わせます。

1 **シーン機能を設定する画面[P53]からフェイスチェイサーアイコン を選び、[SET]ボタンを押す**

2 **レンズを被写体に向ける**

- カメラが顔を検出し、検出するとオレンジ色の枠が出ます。
- この時、シャッターボタンに触れないでください。オートフォーカスが働くと、顔を検出することができません。

オレンジ色の枠



3 **フォーカスロック[P38]する**

- 顔にピントと露出が合います。
- 顔にピントが合うと、オレンジ色の枠が緑色に変わります。

4 **シャッターボタンを押す**

- 撮影します。

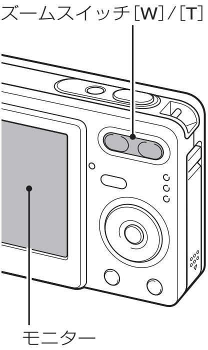
ヒント

- フォーカス方式をAFシーカー に設定すると、シーン機能の設定は、自動的にオート になります。

ズーム撮影をする

ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。

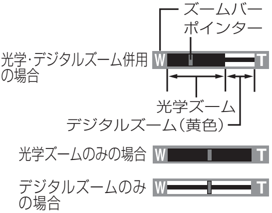
1 撮影モードにし[P33]、被写体にレンズを向ける



2 ズームスイッチを押して、構図を決める

[T]：望遠画面になります。
[W]：広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチの[T]を押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。



3 撮影する

ヒント

デジタルズームが使えない？

- 解像度を10Mに設定している、シーン機能をフェイスチェイサーに設定している、またはフォーカス方式をAFシーカーに設定していると、デジタルズームは使えません。

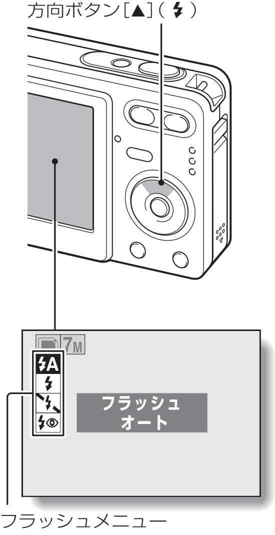
光学ズームが使えない？

- フォーカスレンジをパンPFに設定しているまたは、動画クリップ録画中は光学ズームは使えません。

フラッシュを設定する

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっている時や逆光の場合などでも役に立ちます。
フラッシュには、4 つの動作(オート / 強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減）があります。状況に応じて使い分けてください。
フラッシュを使って撮影できるのは 1 枚撮影のみです。

1 1 枚撮影モードにし[P34]、方向ボタンの[▲](⚡)を押す



- フラッシュメニューが出ます。

⚡A：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します(オート)。

⚡：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影する時に使います(強制発光)。

⚡(禁止)：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影する時などに使います（発光禁止)。

⚡◎：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが予備発光した後に正式発光します。この時、人物の目が赤く写る現象(赤目現象)を軽減します(赤目軽減)。

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、フラッシュ動作を選び、[SET]ボタンを押す

3 シャッターボタンを押して撮影する

- 設定したフラッシュ動作で撮影します

ヒント

オートの時は

- フラッシュの設定を示すアイコン[⚡A]は、撮影画面に出ません。

オートまたは赤目軽減の時は

- 撮影でフラッシュが必要な場合は、ピントが合った時に[⚡A]または[⚡◉]アイコンがモニターに出て、フラッシュの発光をお知らせします。

セルフタイマーを設定する

1 枚撮影モードでは、セルフタイマーを使った撮影ができます。

1 1 枚撮影モードにし[P34]、方向ボタンの[▶](⏲) を押す

- セルフタイマーメニューが出ます。

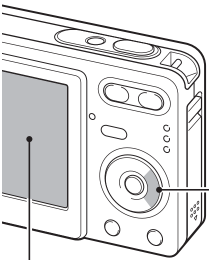
⏲2 ：シャッターを押した2秒後にシャッターを切ります。

⏲10 ：シャッターを押した10秒後にシャッターを切ります。

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押してセルフタイマーの設定を選び、[SET]ボタンを押す

- セルフタイマーを設定し、撮影画面に戻ります。

方向ボタン[▶](⏲)

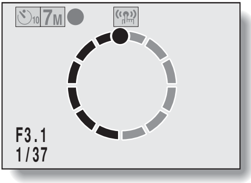




セルフタイマーメニュー

ヒント

- モニターには、シャッターが切れるまでのタイミングを表示します。

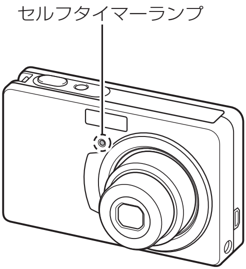


セルフタイマー撮影を中断/中止するには

- セルフタイマー撮影を中断する時は、シャッターが切れる前に、もう一度シャッターボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、シャッターボタンを押します。
- セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマーを使わない設定[■]にしてください。
- セルフタイマー撮影が終わると、セルフタイマーを使わない設定になります。

[⏱10]アイコンを選んだ場合は

- シャッターボタンを押すとセルフタイマーランプが約10秒間点滅した後、撮影を開始します。
- 撮影を開始する約3秒前になると、セルフタイマーランプの点滅が速くなります。



フォーカスレンジを設定する

1 撮影モードにし[P33]、方向ボタンの[▼]（❀）を押す

- フォーカスレンジメニューが出ます。

[PF]：以下の範囲でピントを合わせます(パン)。

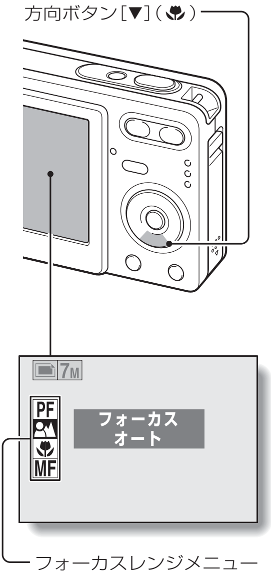
＜静止画撮影＞
絞り値最大時：2.2m〜∞
絞り値最小時：1.3m〜∞

＜動画クリップ撮影＞
Wide端：
絞り値最大時：40cm〜∞
絞り値最小時：30cm〜∞
Tele端：
絞り値最大時：1.7m〜∞
絞り値最小時：1.2m〜∞

[オート]：10cm(Wide端)または60cm(Tele端)〜∞mの範囲で、自動的にピントを合わせます(オート)。

[❀]：5cm(Wide端)または60cm(Tele端)〜80cmの範囲で、ピントを合わせることができます(マクロ)。

[MF]：焦点距離を5cmから8mの間で任意に設定でき、∞に設定することもできます(マニュアル)。



2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押してフォーカスレンジを選び、[SET]ボタンを押す

- フォーカスレンジを設定し、撮影画面に戻ります。

ヒント

- 1枚または連写撮影の場合、マクロ[マクロ]に設定するとズームをWide端より1段Tele側にします。また、パン[PF]に設定するとズームをWide端にします。

フォーカスレンジを設定する（つづき）

マニュアルフォーカスの使いかた



1 フォーカスレンジメニューからマニュアル MF を選び、[SET] ボタンを押す

- 焦点距離を設定するバーが出ます。

2 方向ボタンの[◄]/[►]を押して焦点距離を設定し、[SET]ボタンを押す

- 焦点距離を設定し、撮影画面に戻ります。

ヒント

焦点距離について

- 焦点距離の表示は、レンズ面からの距離です。
- マニュアルフォーカスで設定する焦点距離の数値と実際の被写体までの距離に、多少の相違が出る場合があります。ピント合わせの確認は、モニターに映る画像でお確かめください。

マニュアルフォーカス使用時のズーム動作について

- 焦点距離を50cm以下に設定すると、ズーム位置は焦点距離に適合した最大の位置になります。
- 焦点距離を50cm以下に設定している場合、ズームはピントが合う範囲でのみ動作します。

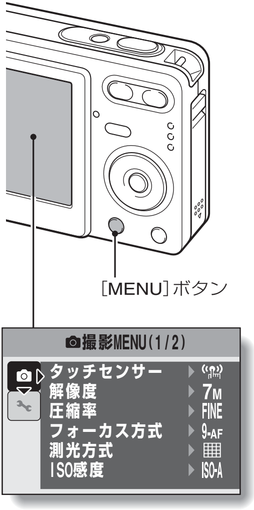
撮影MENUを出す

撮影に関する細かな設定は、撮影 MENU から行います。

1 撮影モードを設定する [P34]

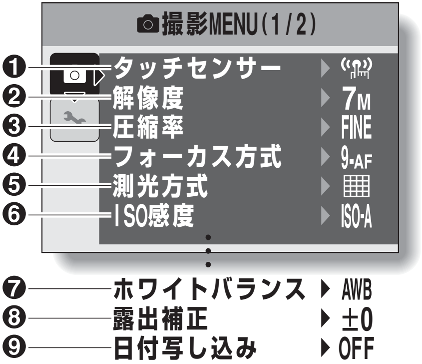
2 [MENU]ボタンを押す

- 操作1で設定した撮影モードの撮影MENUが出ます。
- 撮影MENUは、[MENU]ボタンを押すと消えます。



撮影MENUを出す(つづき)

撮影MENUの紹介



※❼～❾は、方向ボタンの[▲]/[▼]を押すと出ます。

❶タッチセンサーメニュー[P69]

- ：シャッターボタンのタッチセンサーをONに設定します。
- ：シャッターボタンのタッチセンサーをOFFに設定します。

❷解像度メニュー/動画サイズメニュー[P70]

＜1枚/連写撮影モード＞

- 10M：3,680×2,760ピクセルで撮影します（1枚撮影モードのみ）。
- 7M：3,072×2,304ピクセルで撮影します。
- 4M：2,288×1,712ピクセルで撮影します。
- 2M：1,600×1,200ピクセルで撮影します。
- 0.3M：640×480ピクセルで撮影します。

＜動画クリップ撮影モード＞

- TV：640×480ピクセルで撮影します。
- WEB：320×240ピクセルで撮影します。
- ：音声のみを記録します[P71]。

❸圧縮率メニュー（1枚/連写撮影モードのみ）[P73]

- FINE：低圧縮で撮影します。
- NORM：標準圧縮で撮影します。

❹フォーカス方式メニュー[P74]

- 9-AF：9点測距で撮影します。
- S-AF：スポットフォーカスで撮影します。
- AF：フォーカスロックした被写体にフォーカスを追従します。

❺測光方式メニュー[P76]

- ：多分割測光になります。
- ：中央重点測光になります。
- ：スポット測光になります。

❻ISO感度メニュー[P77]

- ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO50～200相当)。
- 50：ISO感度50相当で撮影します。
- 100：ISO感度100相当で撮影します。
- 200：ISO感度200相当で撮影します。
- 400：ISO感度400相当で撮影します。
- 800：ISO感度800相当で撮影します。

❼ホワイトバランスメニュー[P78]

- AWB：カメラが自動的に判断し、撮影します。
- ：晴天時の設定です。
- ：曇天時の設定です。
- ：蛍光灯照明時の設定です。
- ：白熱灯照明時の設定です。
- ：より正確にホワイトバランスを設定します。

❽露出補正メニュー[P79]

明るさを変えて撮影します。

❾日付写し込みメニュー[P80]

撮影時、日付を写し込みます。

※ 同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

タッチセンサー(タッチフォーカス)を設定する

シャッターボタンに触れるだけでオートフォーカスが働くタッチセンサー機能を ON/OFF できます。タッチセンサー機能を OFF にした場合は、シャッターボタンを半分押すとオートフォーカスが働き、そのまま静かに押すとシャッターが切れます。

1 撮影MENUを出す[P66]

2 [タッチセンサー]を選び、[SET]ボタンを押す

- センサーメニューが出ます。

[ON]：タッチセンサー機能をONにします。

[OFF]：タッチセンサー機能をOFFにします。

3 目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- タッチセンサー機能を設定しました。

注意!

- 三脚にカメラを取り付けていると、タッチセンサーの感度が鈍くなる場合があります。これはカメラに素手で触れることによる、静電容量の変化をタッチセンサー機能に利用しているために起こる現象です。手袋をはめた場合でも、同じような現象になることがあります。
- インバータ方式の蛍光灯に近い場所では、タッチセンサーの感度が鈍くなることがあります。

解像度／動画サイズを設定する

解像度(ピクセル数)は、数値が大きいほどきめ細かな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 撮影MENUを出す[P66]

2 1枚撮影モードまたは連写撮影モードの場合は[解像度]、動画クリップの場合は[動画サイズ]を選び、[SET]ボタンを押す

- 解像度メニューまたは動画サイズメニューが出ます。

＜1枚/連写撮影モード＞

10M：3,680×2,760ピクセルで撮影します(1枚撮影モードのみ)。
7M：3,072×2,304ピクセルで撮影します。
4M：2,288×1,712ピクセルで撮影します。
2M：1,600×1,200ピクセルで撮影します。
0.3M：640×480ピクセルで撮影します。

＜動画クリップ撮影モード＞

TV：640×480ピクセルで撮影します。
WEB：320×240ピクセルで撮影します。
🎤：音声のみを記録します[P71]。

3 目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- 解像度/動画サイズを設定しました。

解像度／動画サイズを設定する（つづき）

音声を記録/再生する

動画クリップ撮影モードでは、音声のみを録音することができます。音声は、モノラルで録音します。

音声を記録する

1 動画クリップ撮影モードの撮影MENUを出す[P66]

2 動画サイズメニューから音声アイコン［🎙］を選び、[SET]ボタンを押す

3 [MENU]ボタンを押す

- 録音可能状態になります。

4 シャッターボタンを押す

- 録音を開始します。録音中はモニターに録音時間と録音可能時間が出ます。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 録音中は、マイクを指などでふさがないように注意してください。



5 録音を終了する

- もう一度シャッターボタンを押すと、録音が終了します。

音声を再生する

録音した音声を再生します。

1 音声データを表示する

- 画面に音符マークが出ます。



2 再生する

こうするには	こうします
順方向再生	[SET]ボタンを押す
再生中止	再生中に方向ボタンの[▼]を押す
一時停止	再生中に[SET]ボタンを押す 早送り/早戻し中は方向ボタンの[▲]を押す
早送り	順方向再生中に方向ボタンの[▶]を押す ※方向ボタンの[▶]を押すたびに、速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 方向ボタンの[◀]を押すと、速度が元に戻ります。
早戻し	順方向再生中に方向ボタンの[◀]を押す ※方向ボタンの[◀]を押すたびに、速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 方向ボタンの[▶]を押すと、通常再生に戻ります。
通常再生に戻す	[SET]ボタンを押す
音量調整	**大きくする**：再生中にズームスイッチの[T]を押す **小さくする**：再生中にズームスイッチの[W]を押す

ヒント

- 5倍速以上の倍速再生時、音声は再生しません。

圧縮率を設定する

撮影画像データの圧縮率が設定できます。圧縮率の設定を変えると、同じ解像度で撮影しても、データ量を小さくして撮影枚数を多くしたり、画質を優先した撮影ができます。

1 撮影MENUを出す[P66]

2 圧縮率メニューを選び、[SET]ボタンを押す

- 圧縮率メニューが出ます。

FINE：低圧縮で保存します。ファイルサイズが大きくなりますが、画質は良くなります。

NORM：標準圧縮で保存します。ファイルサイズが小さくなりますが、画質は低下します。

3 目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- 圧縮率を設定しました。

フォーカスエリアを設定する

オートフォーカス(ピント合わせ)の方式が選べます。
9 点測距フォーカス：モニターから見える撮影範囲の 9 箇所のフォーカスポイントでピントを合わせます。ピントが合ったところには、ターゲットマーク ⛶ が出ます。
スポットフォーカス：モニターの中央部分の被写体にフォーカスを合わせます。
AF シーカー：フォーカスロック [P38] した被写体にフォーカスを固定します。被写体の動きに合わせて、フォーカスポイントを自動で移動します。

1 撮影MENUを出す[P66]

2 [フォーカス方式]を選び、[SET]ボタンを押す

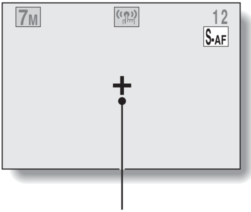
- フォーカス方式メニューが出ます。

9-AF：9点測距フォーカスになります[P39]。

S-AF：スポットフォーカスになります。

AF⊙：AFシーカーになります。

- S-AF、AF⊙に設定した場合は、モニター中央にフォーカスマーク+が出ます。



フォーカスマーク

3 目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- フォーカスエリアを設定しました。

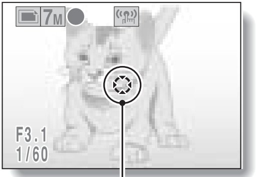
フォーカスエリアを設定する（つづき）

ヒント

スポットフォーカスに設定した場合

- 画面の中央にフォーカスマーク＋が出ます。

AFシーカーに設定した場合



シーカーマーク

- 画面の中央にフォーカスマーク＋が出ます。
- フォーカスロックすると、ピントを合わせた部分にシーカーマークが出ます。
- フォーカスロックしている間は、ピントを合わせた被写体が移動しても、シーカーマークが自動的に被写体を追いかけ続けます。
- フォーカスロックに失敗した場合は、シーカーマークが消えます。
- 暗い場所ではシーカーマークの動きが遅くなる場合があります。
- AF◎ 設定時、デジタルズームは動作しません。
- フォーカス方式をAFシーカー AF◎ に設定すると、シーン機能の設定は、自動的にオート AUTO になります。

測光方式を設定する

カメラの測光方式は、以下の 3 種類から選べます。
多分割測光　：撮影画面全体の光量を分割して調光します。
中央重点測光：撮影画面の中央付近の光量に重点をおいて、撮影画像全体を調光します。
スポット測光：モニターの中央部分の光量だけを重点的に調光してから構図を決め、撮影することができます。

1 撮影MENUを出す[P66]

2 [測光方式]を選び、[SET]ボタンを押す

- 測光方式メニューが出ます。

：多分割測光になります。

：中央重点測光になります。

：スポット測光になります。

3 目的のアイコンを選び[SET]ボタンを押す

- 測光方式の設定ができました。

ＩＳＯ感度を設定する

初期設定では、自動的に被写体の明るさに応じてISO感度を設定するようになっていますが、ISO感度を固定することができます。

1 撮影MENUを出す[P66]

2 [ISO感度]を選び、[SET]ボタンを押す

- ISO感度メニューが出ます。

ISO-A：自動的に感度を設定します（ISO50～400（動画撮影時：ISO200～800）相当）。

50：感度をISO50（動画撮影時：ISO200）相当に設定します。

100：感度をISO100（動画撮影時：ISO400）相当に設定します。

200：感度をISO200（動画撮影時：ISO800）相当に設定します。

400：感度をISO400（動画撮影時：ISO1,600）相当に設定します。

800：感度をISO800（動画撮影時：ISO3,200）相当に設定します。

3 目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- ISO感度を設定しました。

ヒント

- ISO感度を高く設定するほど、速いシャッタースピードでの撮影や暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にノイズが増える場合があります。

注意！

動画クリップ撮影でフリッカー（画面のちらつき）が発生する？

- ISO感度を400以上に設定し、蛍光灯照明の下で動画クリップ撮影をすると、撮影画像に激しいフリッカーが発生する場合があります。

ホワイトバランスを設定する

このカメラは、光源の色が変化しても、撮影画像の色が変化しないように調整するホワイトバランス自動調整機能を搭載しています。特に光源を指定する場合は、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 撮影MENUを出す[P66]

2 [ホワイトバランス]を選び、[SET]ボタンを押す

- ホワイトバランスメニューが出ます。

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。

☀：晴天時の設定です。

☁：曇天時の設定です。

蛍光灯アイコン：蛍光灯による照明時の設定です。

白熱灯アイコン：白熱灯による照明時の設定です。

ワンプッシュアイコン：より正確にホワイトバランスをとる時の設定です(ワンプッシュ)。光源が特定できない場合などに使用してください。

ホワイトバランスメニューからワンプッシュアイコンを選び、白い紙を画面いっぱいに表示して[SET]ボタンを押すと、ホワイトバランスが設定できます。他のホワイトバランス設定を行う場合は、操作3を行ってください。

3 目的のアイコンを選び、[MENU]ボタンを押す

- ホワイトバランスの設定ができました。

ヒント

ホワイトバランスの設定を解除するには

- 操作1 2を行い、AWBアイコンを選んで[MENU]ボタンを押します。

露出を補正する

明るさを変えて撮影することができます。

1 被写体にレンズを向け、撮影MENUを出す[P66]

2 [露出補正]を選び[SET]ボタンを押す

● 露出補正を設定する画面が出ます。

3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して補正値を選び、[SET]ボタンを押す

● 露出補正を設定し、撮影MENUに戻ります。

ヒント

● 電源を切ると、露出補正の設定は「±0」になります。

日付を写し込む

撮影した画像に日付を写し込むことができます。

1 撮影MENUを出す[P66]

2 [日付写し込み]を選び、[SET]ボタンを押す

- 日付写し込みを設定する画面が出ます。

[ON]：日付を写し込みます。

[OFF]：日付を写し込みません。

3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して設定を選び、[SET]ボタンを押す

- 日付写し込みを設定し、撮影MENUに戻ります。

ヒント

撮影年月日と日付写し込みについて

- 画像を編集すると、撮影年月日の記録は画像編集を行なった日付に変わりますが、日付写し込みの日付は変わりません。

連写速度が遅い？

- 日付写し込みを[ON]に設定していると、連写速度が遅くなる場合があります。

写し込んだ日付が「----.--.--」になる？

- 日付・時刻を設定していません。カメラの日付・時刻を設定してください[P26]。

再生MENUを出す

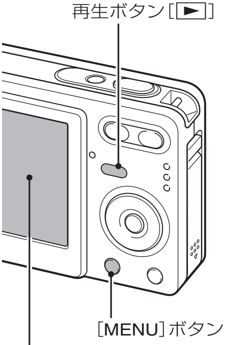
再生の設定は、再生 MENU から行います 。

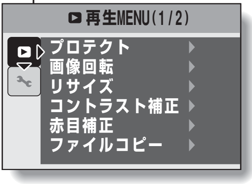
1 再生ボタン[►]を押す

- 再生画面になります。

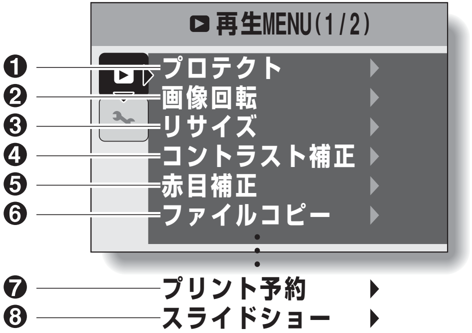
2 [MENU]ボタンを押す

- 再生MENUが出ます。
- 再生MENUは、[MENU]ボタンを押すと消えます。





再生MENUの紹介



❶ [プロテクト] [P83]
- データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

❷ [画像回転] [P85]
- 静止画を回転表示します。

❸ [リサイズ] [P86]
- 静止画の解像度を下げます。

❹ [コントラスト補正] [P87]
- 画像に明暗(コントラスト)を付けて、はっきりした画像にします。

❺ [赤目補正] [P89]
- 赤く写った目を自然な状態に補正します。

❻ [ファイルコピー] [P91]
- カードと内蔵メモリーの間でファイルをコピーします。

❼ [プリント予約] [P93]
- 印刷の設定を行います。

❽ [スライドショー] [P98]
- スライドショー再生をします。

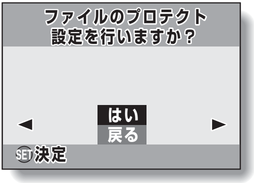
※❼, ❽のアイコンは、方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、画面をスクロールすると出ます。

プロテクト(消去禁止)を設定する

データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

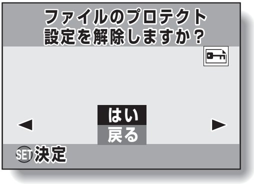
1 プロテクトを設定するデータを表示し、再生MENUを出す[P81]

2 [プロテクト]を選び、[SET]ボタンを押す



- プロテクトを設定する画面が出ます。

3 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す



- データにプロテクトを設定しました。
- プロテクトを設定したデータには、プロテクトマーク[プロテクトマーク]が付きます。

注意!

- プロテクトをかけたデータでも、カードを初期化すると消えます[P111]。

ヒント

操作2・3の画面で、他の画像を選ぶには

- 方向ボタンの[◀]/[▶]を押します。

プロテクトを解除するには

- プロテクトを解除するデータを表示し、操作1〜3を行ってください。

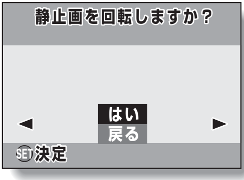
画像を回転表示する

静止画を回転して見ることができます。

1 回転する画像を表示し、再生MENUを出す[P81]

2 [画像回転]を選び、[SET]ボタンを押す

- 画像を回転する画面が出ます。



3 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- [SET]ボタンを押すごとに、画像が90°回転します。

ヒント

- 9画面マルチ再生では、回転した表示になりません。
- プロテクトした画像は回転できません。

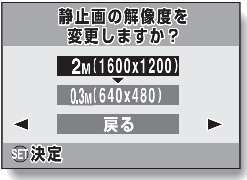
画像のサイズを変える(リサイズ)

解像度が 2M 以上の静止画像のサイズを 1,600 × 1,200 ピクセルまたは 640 × 480 ピクセルに変えて、新しく静止画像を作ることができます。

1 サイズを変える静止画像を表示し、再生MENUを出す[P81]

2 [リサイズ]を選び、[SET]ボタンを押す

- 静止画像の解像度を変更する画面が出ます。



3 変更後の画像サイズを選ぶ

[2M(1600×1200)]：1600×1200ピクセルにします。
[0.3M(640×480)]：640×480ピクセルにします。
[戻る]：再生MENUに戻ります。

4 [SET]ボタンを押す

- サイズ変更を開始します。

ヒント

リサイズできない？

- 変更後の画像サイズより小さい画像をリサイズすることはできません。

コントラストを補正する

画像に明暗(コントラスト)を付けて、はっきりした画像にします。

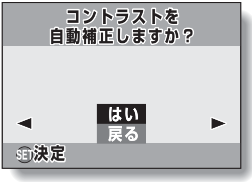
1 コントラストを補正する画像を表示し、再生MENUを出す[P81]

2 [コントラスト補正]を選び、[SET]ボタンを押す

- コントラスト補正画面が出ます。

[はい]：コントラストを補正します。

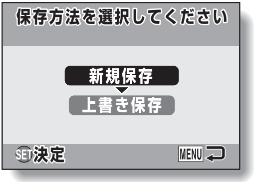
[戻る]：再生MENUに戻ります。



3 [はい] を選び、[SET]ボタンを押す

- 補正を実行します。
- 補正処理中は、「処理中」表示が出ます。
- 補正処理が終わると、処理後の画像が出ます。補正の状態を確認してください。

4 補正の状態を確認し、良ければ[SET]ボタンを押す



- 補正後の画像の保存方法を選ぶ画面が出ます。
- 補正しない場合は、[MENU]ボタンを押してください。補正を取り消して、コントラスト補正画面に戻ります。

[新規保存]：補正後の画像を新しい画像として保存します。

[上書き保存]：元の画像を削除して補正後の画像だけを保存します。

5 保存方法を選び、[SET]ボタンを押す

- 補正をした画像を保存し、コントラスト補正画面に戻ります。

ヒント

保存した画像の撮影年月日について

- 再生時に表示する補正後の画像の日付表示は、補正して保存した日付になります。

赤目現象を補正する

人物を撮影した際に、目が赤く写ることがあります(赤目現象)。赤く写ってしまった目を自然な状態に近づけることができます(赤目補正)。

1 赤目補正する画像を表示し、再生MENUを出す [P81]

2 [赤目補正]を選び、[SET]ボタンを押す

- 赤目補正画面が出ます。

[はい]：赤目現象を補正します。

[戻る]：再生MENUに戻ります。



3 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

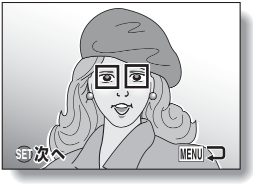
- 赤目補正を実行します。
- 赤目補正処理中は、「処理中」表示が出ます。
- 赤目補正の処理が終わると、補正する位置を示す画像が出ます。

4 補正する位置を確認し、良ければ[SET]ボタンを押す

- 補正後の画像の保存方法を選ぶ画面が出ます。
- 補正しない場合は、[MENU]ボタンを押してください。補正を取り消して、赤目補正画面に戻ります。

[新規保存]：補正後の画像を新しい画像として保存します。

[上書き保存]：元の画像を削除して補正後の画像だけを保存します。



5 保存方法を選び、[SET]ボタンを押す

- 補正をした画像を保存し、赤目補正画面に戻ります。

ヒント

「赤目補正できません」表示が出る？

- 赤目現象を補正することができませんでした。
- このカメラの赤目補正機能は、カメラが赤目現象と認識した部分を自動補正します。このため、目が赤く写っていても補正できなかったり、赤く写った目以外の部分を赤目現象と認識し補正する場合があります。

保存した画像の撮影年月日について

- 再生時に表示する補正後の画像の日付表示は、補正して保存した日付になります。

ファイルをコピーする

撮影した画像をカメラの内蔵メモリーからカードへ、カードから内蔵メモリーへとコピーすることができます。

1 カメラにカードをセットする[P22]

2 再生MENUを出す[P81]

3 [ファイルコピー]を選び、[SET]ボタンを押す

- ファイルをコピーする画面が出ます。



4 コピー方向を選ぶ

[内蔵メモリー ➡ カード]：
内蔵メモリーの画像データをカードへコピーします。
[カード ➡ 内蔵メモリー]：
カードの画像データを内蔵メモリーへコピーします。
※カードを装着していないと、コピーすることができません。

5 [SET]ボタンを押す

- コピーのしかたを選ぶ画面が出ます。
- 画面の背景には、コピー元の画像が出ます。

  [1ファイルコピー]：データを1つずつコピーします。

  [全ファイルコピー]：コピー元のデータをすべてコピー先へコピーします。

  [戻る]：ファイルをコピーする画面(操作**3**)に戻ります。



6 コピーのしかたを選ぶ

<[1ファイルコピー]を選ぶ場合>

①方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、コピーするデータを表示する
②方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[1ファイルコピー]を選ぶ

<[全ファイルコピー]を選ぶ場合>

①方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[全ファイルコピー]を選ぶ

7 [SET]ボタンを押す

- コピーを実行します。

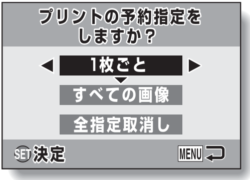
プリントを設定する

静止画は、プリンタで印刷することはもちろん、従来の写真のようにデジタルプリント取扱店でプリントができます。またこのカメラは DPOF 規格を採用しており、プリントする枚数の指定や日付けプリントの有無を指定することもできます。

プリントを設定する画面を出す

1 再生MENUを出す[P81]

2 [プリント予約]を選び、[SET]ボタンを押す



- プリントを設定する画面が出ます。

  [1枚ごと]：
  画像1枚ごとにプリントの設定を行います。

  [すべての画像]：
  すべての画像にプリントの設定を行います。

  [全指定取消し]：
  プリント指定の内容をすべて取り消します。

ヒント

DPOF規格について

- DPOFは、プリントオーダー規格の1つです。カメラでプリント内容を設定することで、効率よくプリントができます。DPOF規格に対応したプリンタにカメラを直接つないで印刷することもできます。またプリント設定をすると、予約画像印刷[P131]で一度に印刷することもできます。

プリントの仕上がりについて

- 画像回転した画像は、元の画像の状態でプリントします。
- プリントの仕上がりは、プリントサービスやプリンタの仕様によって異なります。

注意!

- カードに約1万個以上のファイルが存在する場合、プリントを設定することができません。

プリントを設定する（つづき）

日付・プリント枚数を設定する

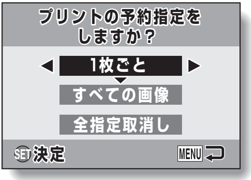
1 画像ごとに個別に設定する方法（1 枚ごと）と、カード内の画像すべてに同じ設定をする方法（すべての画像）があります。

1 プリントを設定する画面を出す[P93]

2 [1枚ごと]または[すべての画像]を選ぶ

[1枚ごと]：
表示している画像にプリント設定をします。

[すべての画像]：
カード内のすべての静止画に、同じプリント設定をします。



3 [SET]ボタンを押す

- 日付・プリント枚数設定画面が出ます。
- [1 枚ごと]を選んだ場合は方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、プリント設定をする画像を表示してください。
- モニターの左上には、表示中の画像のプリント設定が出ます。
  方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、各画像のプリント設定が確認できます。



4 プリント枚数または日付プリントを設定する

- プリント枚数を設定してから日付プリントを設定してください。プリント枚数を設定していないと、日付プリントは設定できません。

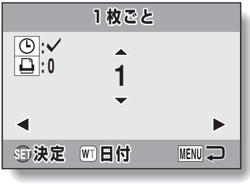
<プリント枚数を設定する>

- 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、プリント枚数を設定する。
  - ・目的の枚数が出るまで方向ボタンの[▲]/[▼]を押してください。



<日付プリントを設定する>

- ズームスイッチの[W]を押して、◷: の横にチェックマーク(✓)を付ける



5 [SET]ボタンを押す

- プリント枚数と日付プリントを設定しました。
- [MENU]ボタンを押すと、プリントを設定する画面(操作 1)に戻ります。



注意!

- 日付写し込み[P80]を[ON]に設定して撮影した画像には日付プリントを設定しないでください。日付が二重に印刷されます。

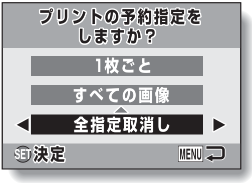
プリントを設定する(つづき)

すべての画像のプリント設定を取り消す

画像のプリント設定をすべて取り消します。

1 プリントを設定する画面を出す[P93]

2 [全指定取消し]を選ぶ



3 [SET]ボタンを押す

- 全指定取消し確認画面が出ます。

[はい]：すべての画像のプリント設定を取り消します。

[戻る]：プリント設定の取り消しを中止して、プリントを設定する画面に戻ります。

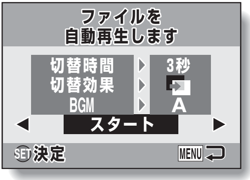
4 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- すべての画像のプリント設定を取り消して、再生MENUに戻ります。

スライドショー再生をする

1 再生MENUを出す[P81]

2 [スライドショー]を選び、[SET]ボタンを押す



- スライドショーを設定する画面が出ます。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[BGM]：スライドショー再生中に鳴らす音楽を設定します。

[スタート]：スライドショー再生を開始します。

<設定を変更する場合>

❶設定を変更する項目を選び、[SET]ボタンを押す
❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押し、設定を選ぶ
❸[SET]ボタンを押す

3 [スタート]を選び、[SET]ボタンを押す

- スライドショー再生を開始します。
- 再生中に[SET]ボタンまたは[MENU]ボタンを押すと、スライドショー再生を中止します。

ヒント

- 音声データはスライドショーで再生しません。

画像情報を表示する(インフォ画面)

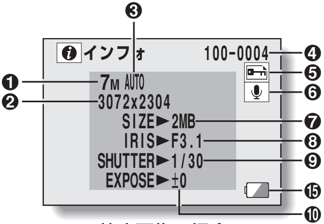
撮影画像の情報を表示(インフォ画面)することができます。

1 情報を表示したい画像を出す

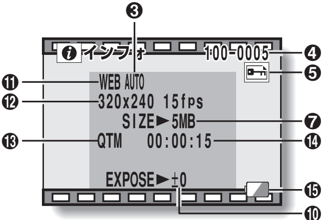
2 [MENU]ボタンを約1秒以上押す

- インフォ画面が出ます。
- インフォ画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

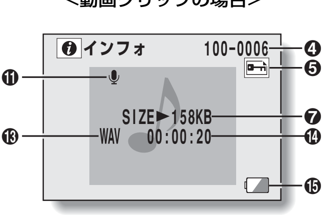
❶解像度の設定
❷解像度
❸シーン機能の設定
❹画像番号
❺プロテクトの設定
❻音声メモの有無
❼ファイルサイズ
❽絞り値
❾シャッタースピード
❿露出補正の設定
⓫動画サイズの設定
⓬解像度とフレームレート
⓭ファイル形式
⓮再生時間
⓯電池残量表示



<静止画像の場合>



<動画クリップの場合>



<音声ファイルの場合>

オプションMENUを出す

カメラの設定は、オプション MENU で行います。

1 撮影または再生MENUを出す

- 撮影MENU→[P66]
- 再生MENU→[P81]

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押してオプションタグを選ぶ

- オプション MENUが出ます。

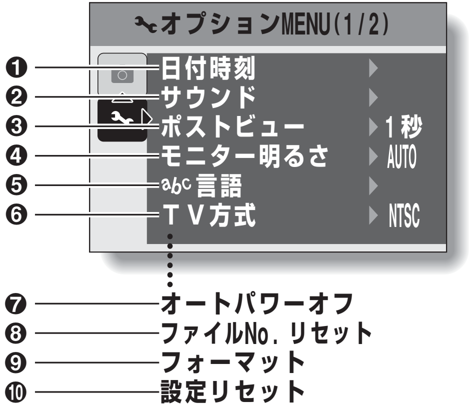


オプション MENU を消すには

撮影画面または再生画面に戻る→[MENU]ボタンを押す
撮影MENUまたは再生MENUに戻る→オプションタグを選んだ状態で、方向ボタンの[▲]/[▼]を押す

オプションMENUを出す(つづき)

オプションMENUの紹介



❶[日付時刻] [P26]
- カメラの内蔵時計を設定します。

❷[サウンド] [P103]
- カメラから出る音を設定します。

❸[ポストビュー] [P105]
- 静止画を撮影した後、撮影した画像がモニターに出ている時間を設定します。

❹[モニター明るさ] [P36]
- モニターの明るさを設定します。

❺[abc 言語]
- このカメラは、日本語のみの表示です。他の言語には設定できません。

❻[TV方式] [P106]
- カメラのUSB/AV端子から出るテレビ信号の方式を設定します。

❼[オートパワーオフ] [P107]
- オートパワーオフ機能が働いて、電源が切れるまでの時間を設定します。

❽[ファイルNo.リセット] [P108]
- ファイルNo.リセット機能のON/OFFを設定します。

❾[フォーマット] [P111]
- カメラの内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードをフォーマットします。

❿[設定リセット] [P113]
- カメラの設定を工場出荷時の状態にします。

※❼〜❿は、方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、画面をスクロールすると出ます

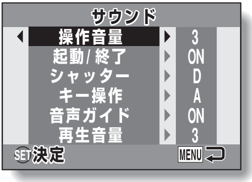
サウンドを設定する

カメラから出る音(サウンド)を設定します。

1 オプションMENUを出す[P100]

2 [サウンド]を選び、[SET]ボタンを押す

- サウンドを設定する画面が出ます。



[操作音量]：各ボタンを操作した時に鳴る音量を設定します。

[起動/終了]：カメラの電源を入れたり切ったりした時に鳴る音を設定します。

[シャッター]：シャッターボタンを押した時に鳴る音を設定します。

[キー操作]：カメラのボタン([SET] ボタン、[MENU] ボタンなど)を押した時に鳴る音を設定します。

[音声ガイド]：カメラの操作を音声でお知らせする機能を設定します。

[再生音量]：動画クリップや音声データの再生音量を設定します。

3 設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

4 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、設定を選ぶ

<[起動/終了][音声ガイド]を選んだ場合>

- 起動/終了音または音声ガイドを鳴らすか鳴らさないかを選ぶメニューが出ます。

  [ON]：音が鳴ります。

  [OFF]：音が鳴りません。

<[シャッター][キー操作]を選んだ場合>

- 音を選ぶ画面が出ます。
- AからEの5種類の音と[OFF]があります。
- 音を選んで方向ボタンの[▶]を押すと、選んでいる音を聞くことができます。
- [OFF]を選ぶと、音が鳴りません。

<[操作音量][再生音量]を選んだ場合>

- 音量を選ぶ画面が出ます。
- 音量は、1(最小)から5(最大)までの範囲で選べます。
- [OFF]を選ぶと、音が鳴りません。

5 [SET]ボタンを押す

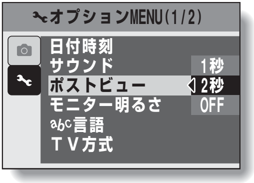
- サウンドを設定しました。
- [MENU]ボタンを押すと、オプションMENUに戻ります。

ポストビューを設定する

シャッターボタンを押した後、撮影した画像がモニターに出る(ポストビュー)時間を設定します。

1 オプションMENUを出す[P100]

2 [ポストビュー]を選び、[SET]ボタンを押す



- ポストビューメニューが出ます。

  [1秒]：ポストビューを1秒間出します。

  [2秒]：ポストビューを2秒間出します。

  [OFF]：ポストビューを出しません。

3 目的の設定を選び、[SET]ボタンを押す

- ポストビューを設定しました。

ＴＶ方式を設定する

カメラのUSB/AV 端子から出力する映像信号の方式を設定します。

1 オプションMENUを出す[P100]

2 [TV方式]を選び、[SET]ボタンを押す



- TV方式メニューが出ます。
  - **[NTSC]**：NTSC 方式の映像信号を出力します（日本･北米など）。
  - **[PAL]**：PAL方式の映像信号を出力します（ヨーロッパなど）。

3 目的の設定を選び、[SET]ボタンを押す

- TV方式を設定しました。

ヒント

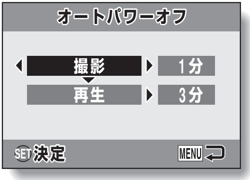
画像がテレビに映らない？
- TV方式の設定が、接続する機器の信号方式に合っていないと、テレビで画像を見ることができません。

オートパワーオフ機能を設定する

このカメラには、カメラを使用しない時に電池の消耗をおさえたり電源の切り忘れを防ぐため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能があります。
電源が切れるまでの時間（待機時間）を設定することができます。

1 オプションMENUを出す[P100]

2 [オートパワーオフ]を選び、[SET]ボタンを押す



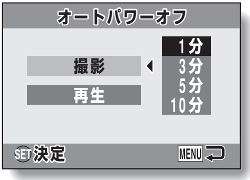
- 待機時間を設定する画面が出ます。

  [撮影]：撮影モードでの待機時間を設定します。

  [再生]：再生モードでの待機時間を設定します。

3 設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

- 待機時間のメニューが出ます。



＜例：[撮影]を選んだ場合＞

4 方向ボタンの[▲]/[▼]を押し、待機時間を選ぶ

5 [SET]ボタンを押す

- オートパワーオフ機能を設定しました。
- [MENU]ボタンを押すと、オプションMENUに戻ります。

ファイルNo.リセット機能を設定する

初期化 [P111] したカードを使うと、撮影した画像のファイル名(画像番号)は自動的に 0001 から始まります。再度初期化したり、別の初期化したカードを使うと、ファイル名は再び 0001 から始まります。これはファイル No. リセット機能が入 [ON] になっているためですが、この場合複数のカードに同じファイル名が存在することになり、パソコンに保存する時など、誤って上書きしてしまう可能性があります。ファイル No. リセット機能を切 [OFF] にすると、カードを初期化したり交換しても、ファイル名の番号を継続して付けることができます。

〈ファイルNo.リセット機能　入[ON]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

↓ カード交換

カードB	0001、0002……0012、0013

〈ファイルNo.リセット機能　切[OFF]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

↓ カード交換

カードB	0014、0015……0025、0026

ファイルNo.リセット機能を設定する（つづき）

- 交換したカードに画像が残っていた場合、撮影した画像のファイル名は次のようになります。

交換前に撮影した画像番号より小さいファイル名の画像が残っていた：撮影中のファイル名を継続した番号になります。

カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0001、 0002、0014, 0015……0025、0026

カードBに残っていた画像

交換前に撮影した画像番号より大きいファイル名の画像が残っていた：最後のファイル名からの連番になります。

カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0020、0021、0022、0023……0025、0026

カードBに残っていた画像

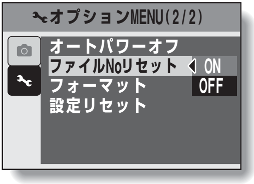
ヒント

内蔵メモリーの場合は？

- ファイルNo.リセット機能は、内蔵メモリーに対しても同様に働きます。

1 オプションMENUを出す[P100]

2 [ファイルNo.リセット]を選び、[SET]ボタンを押す



- ファイルNo.リセットメニューが出ます。

  [ON]：ファイルNo.リセット機能をONにします。

  [OFF]：ファイルNo.リセット機能をOFFにします。

3 [OFF]を選び、[SET]ボタンを押す

- ファイルNo.リセット機能をOFFに設定しました。

ヒント

- ファイルNo.リセット機能は、ONにするまでファイル名が連番となります。撮影の区切りがついたら、ONに戻すことをおすすめします。

カード･内蔵メモリーを初期化する

・購入後、初めて使うカード
・パソコンや他のカメラで初期化したカード
は、必ずこのカメラで初期化(フォーマット)してからご使用ください。
カードのロックスイッチを「LOCK」の位置にしている場合は、初期化できません。ロックスイッチをロック解除の位置にしてから、初期化をしてください。

1 カードを初期化する場合はカードを装着し、内蔵メモリーを初期化する場合はカードを取りはずす

2 オプションMENUを出す[P100]

3 [フォーマット]を選び、[SET]ボタンを押す

＜カードの場合＞
- 初期化の方法を選ぶ画面が出ます。
- 操作4～6を行ってください。

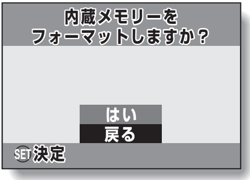
[フォーマット]：
通常の初期化を行います。

[完全フォーマット]：
物理フォーマットを行います(カードを装着していなかったり電池残量が少ない場合、マルチメディアカードを装着している場合は、選択できません)。



<カード装着時>

＜内蔵メモリーの場合＞
- フォーマットの確認画面が出ます。
- 操作5・6を行ってください。



<カード未装着時>

4 フォーマットの方法を選び、[SET]ボタンを押す

- フォーマットの確認画面が出ます。

5 [はい]を選ぶ

6 [SET]ボタンを押す

- 初期化が始まります。
- 初期化中は、[フォーマット中 電源を切らないでください]表示が出ます。

注意!

初期化中のご注意

- 初期化中は、カメラの電源を切ったり、カードを入れたり取り出したりしないでください。

初期化をすると、データが消えます

- 初期化すると、記録したデータは、すべて消えます。プロテクトしたデータも消えますので、初期化をする前に大切なデータはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

カードを廃棄/譲渡するときのご注意(初期化をしてもデータが復元できる?)

- カメラやパソコンの機能によるデータの削除やフォーマットをしても、カードの管理情報を変更するだけで、データはカードに残ったままで、完全には消去できません。
- フォーマットを行っても、データを復元するソフトを使うと、カード内のデータを復元できる場合があります。一方、本機で完全フォーマットを行うと、復元ソフトを使ってもデータの復元ができなくなります。
- カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、カード本体を物理的に破壊するか、本機で完全フォーマットを実行するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。カード内のデータは、お客さまの責任において管理してください。

ヒント

初期化を中止するには

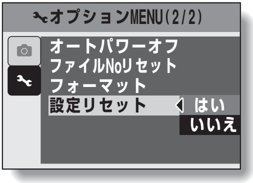
- 操作5で[戻る]を選び、[SET]ボタンを押してください。

カメラの設定をリセットする

各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 オプションMENUを出す[P100]

2 [設定リセット]を選び、[SET]ボタンを押す



- 設定リセットメニューが出ます。

[はい]：カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

[いいえ]：カメラの設定を変えず、オプションMENUに戻ります。

3 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- カメラの設定を工場出荷時の設定にします。

ヒント

- 設定をリセットしても、以下の設定は保持します。
日付時刻の設定、TV方式、ファイルNo.リセット

内蔵メモリーやカードの空き容量をチェックする

カードの空き容量は、撮影可能枚数や撮影または録音可能時間の表示で確認することができます。内蔵メモリーや 1 枚のカードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数 / 撮影可能時間 / 録音可能時間 [P168]」を参照してください。

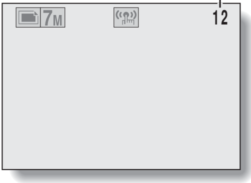
1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れる

<静止画の撮影可能枚数をチェックする場合>
撮影モードを1枚または連写撮影モードにする[P34]

<動画クリップの撮影可能時間をチェックする場合>
撮影モードを動画クリップ撮影モードにする[P34]

- モニターに撮影可能時間が出ます。
- 撮影可能枚数や時間表示は、解像度や動画サイズの設定に応じて変わります。

撮影可能枚数



＜静止画撮影画面＞

撮影可能時間



＜動画クリップ撮影画面＞

内蔵メモリーやカードの空き容量をチェックする(つづき)

録音可能時間のチェック

1 録音可能状態にする [P71]

- 録音可能時間が出ます。



ヒント

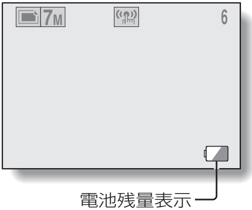
- 撮影可能枚数または、撮影可能時間表示が[0]になると、撮影ができなくなります。新たに撮影する場合は、別のカードに取り替えるか、パソコンに画像を保存した後、画像を消去[P46]してください。
- 撮影可能枚数または撮影可能時間表示が[0]になっても、解像度または動画モードの設定を変えると[P70]撮影が可能になる場合があります。
- 撮影可能枚数の最大値は「9999」、撮影可能時間/録音可能時間の最大値は「99：59：59」です。大容量カードをお使いの場合、正しい数値が表示されないことがありますので、ご注意ください。

電池残量をチェックする

電池を使用している場合は、モニターで電池残量が確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の使用可能時間は 167 ページを参照してください。

1 [ON/OFF]ボタンを押して、電源を入れる

- モニターの右下に、電池残量を示すアイコンが出ます。
- 電池の特性により、低温時には 表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。



電池残量表示	電池の残量
表示なしまたは	ほぼいっぱいの容量があります。 （ は一部の動作モードでのみ出ます）
	容量が少なくなりました。
	もうすぐ撮影や再生ができなくなります。
	撮影時、シャッターボタンを押している間点滅すると、撮影はできません。電池を充電してください。

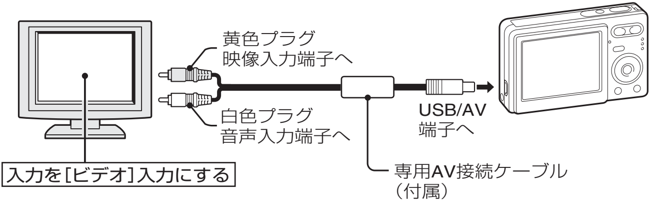
電池残量をチェックする(つづき)

ヒント

- 撮影画像がある場合は、インフォ画面[P99]でも電池残量が確認できます。
- 同じ種類の電池でも、電池の使用可能時間が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件(フラッシュの発光回数、モニターの入/切)や周囲の温度(10℃以下の低温)によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。
- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が速くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします(スキー場など寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください)。

テレビに接続する

カメラの USB/AV 端子と、テレビの音声・映像入力端子を付属の専用 AV 接続ケーブルで接続します。



再生のしかた

- 接続後、テレビの入力切り替えを[ビデオ]入力にしてください。
- AV接続ケーブルをつないだ時は、カメラのモニターの表示が消えます。
- カメラのモニターでの再生と同じ手順で再生できます。
- 音声メモや音声を再生する時も、カメラで再生する時と同じ操作で再生できます。

音声メモの再生：P40　　音声の再生：P72

注意！

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

パソコンに接続する

パソコンに接続すると、カメラをカードリーダーとして使うことができます。

リムーバブルディスクとしての使用上の注意

- カメラ内のデータおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。カメラがデータを認識できなくなる場合があります。
  変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、カメラでは使用できません。カメラで使用するカードは、カメラ本体でフォーマットを行ってください。

動作環境

Windows

USB ポートを標準搭載し、Windows Me または 2000 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。Windows をアップグレードした環境での動作は、保証しません。

Macintosh

USB ポートを標準搭載し、Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X10.1 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。

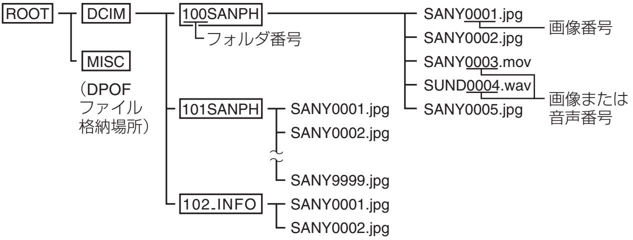
記録データの形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

データの種類	データ形式	ファイル名命名規則
静止画データ	JPEG	SANYで始まる。拡張子は「.jpg」。 SANY＊＊＊＊.jpg
音声メモデータ	WAVE	対応する静止画データと同じファイル名。拡張子は「.wav」。 SANY＊＊＊＊.wav
動画クリップデータ	QuickTime Movie	SANYで始まる。拡張子は「.mov」。 SANY＊＊＊＊.mov*
音声記録データ	WAVE	SUNDで始まる。拡張子は「.wav」。 SUND＊＊＊＊.wav*

*記録した順に続き番号が入る

カードのディレクトリ構造



※100SANPHフォルダ内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影/録音すると、新たに101SANPHフォルダを作り、この中に保存します。
フォルダ番号は順次102SANPH、103SANPH･･･となります。
※***-INFOフォルダ(***はフォルダ番号)には、スクリーンキャプチャー[P151]で保存した画像を格納します。

ヒント

カメラで撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTime 3以降を使用して、パソコンで再生することができます。
- 付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)にはWindows版のQuickTime 7.0を添付しています。

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルNo.リセット機能を[OFF]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダ番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します[P108]。

注意!

カメラで再生する場合はカードのデータをパソコンで書き換えない

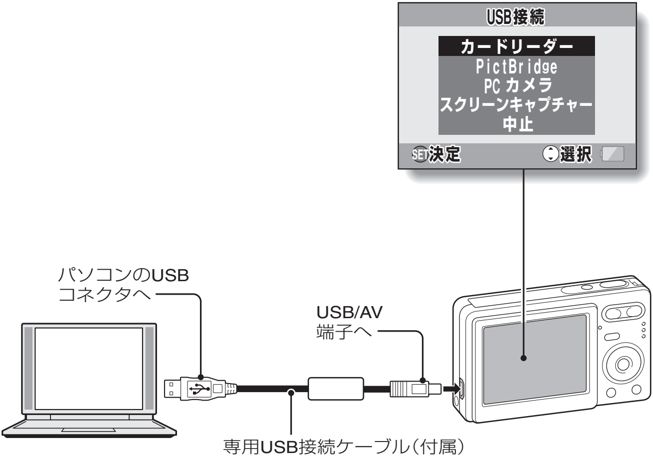
- カメラで撮影した画像データは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

パソコンに接続する（つづき）

カードリーダーモードにする

1 **パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する**

- カメラのUSB/AV端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。



2 [カードリーダー]を選び、[SET]ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

Windows XP

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P121]

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識(マウント)し、[リムーバブルディスク(E:)]ウィンドウが開きます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

- [XACTI E7(E:)]ウィンドウから、目的の操作を選んでください。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

Windows MeおよびWindows 2000

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする**[P121]**

- パソコンのモニターに新しいハードウェアを検出するメッセージが出た場合は、メッセージに従ってドライバをインストールしてください。
- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- カメラに装着したカードをドライブとして認識(マウント)します。
- [マイコンピュータ]の[リムーバブルディスク(E:)]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

3 [OK]ボタンをクリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

パソコンに接続する(つづき)

Mac OS 9.XX

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P121]

- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。
- [名称未設定]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す[名称未設定]アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする

- デスクトップから[名称未設定]アイコンが消えます。
- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS X

マウント／アンマウントは、Mac OS9.xxの場合と同じ操作で行えます。ただし、カメラの画像を自動認識するようにアプリケーションを設定している場合は、自動認識したアプリケーションが起動します。

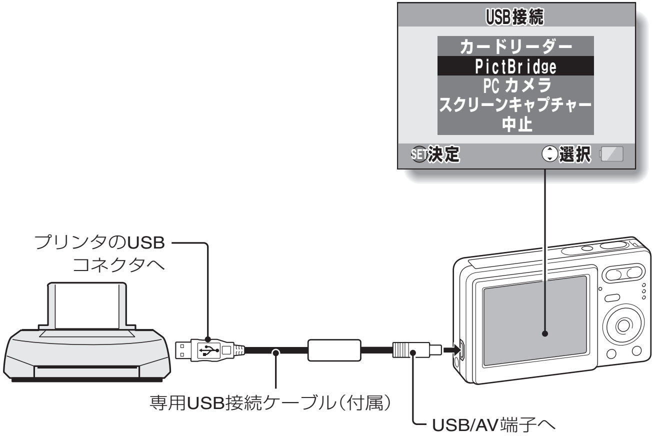
ダイレクト印刷をする

このカメラはPictBridgeに対応しており、PictBridge対応プリンタに直接接続し、カメラのモニターで写真選択や印刷開始を指定することができます(PictBridge印刷)。

印刷の準備

1 プリンタの電源を入れ、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをプリンタに接続する

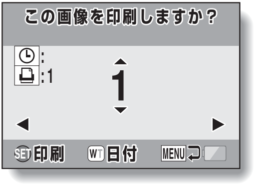
- カメラのUSB/AV端子とプリンタのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。



ダイレクト印刷をする(つづき)

2 [PictBridge]を選んで、[SET]ボタンを押す

- 印刷画像の選択画面が出ます。



注意!

プリンタ接続時の注意

- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用USB接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。
- PictBridge印刷中は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池を使って印刷をする場合は、電池残量が十分あることを確認してください。

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

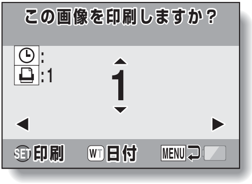
1枚の画像を選んで印刷する（選択画像印刷）

静止画を選んで印刷します。

1 印刷の準備をする[P126]

2 方向ボタンの[◀]/[▶]を押す

- 印刷する画像を表示してください。



ダイレクト印刷をする(つづき)



3 印刷枚数または日付プリントを設定する

＜プリント枚数を設定する＞

- 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、プリント枚数を設定する。
  - ・目的の枚数が出るまで方向ボタンの[▲]/[▼]を押してください。

＜日付プリントを設定する＞

- ズームスイッチの[W]を押して、:の横にチェックマーク(✓)を付ける

4 [SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

ヒント

印刷を中止するには

❶印刷中に方向ボタンの[▼]を押す
　・印刷中止の確認画面が出ます。
❷[はい]を選び、[SET]ボタンを押す
　・[戻る]を選んで[SET]ボタンを押すと、印刷を続行します。

注意!

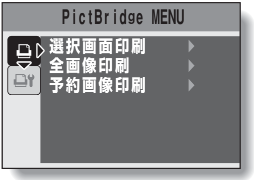
- 日付写し込み[P80]を[ON]に設定して撮影した画像には日付プリントを設定しないでください。日付が二重に印刷されます。

すべての画像を印刷する（全画像印刷）

すべての静止画像を印刷します。

1 印刷の準備をする[P126]

2 [MENU]ボタンを押す



- PictBridge MENUが出ます。

3 [全画像印刷]を選び、[SET]ボタンを押す

- 全画像印刷画面が出ます。

4 印刷枚数または日付プリントを設定する



<プリント枚数を設定する>

- 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、プリント枚数を設定する。
  - ・目的の枚数が出るまで方向ボタンの[▲]/[▼]を押してください。

<日付プリントを設定する>

- ズームスイッチの[W]を押して、 ⊙: の横にチェックマーク（ ✓ ）を付ける

5 [SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

注意!

静止画像が1000枚以上ある場合は印刷できません

- 不要な画像を消去してから印刷してください。

ダイレクト印刷をする（つづき）

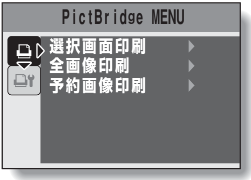
プリント設定をした画像を印刷する（予約画像印刷）

プリントの設定をした静止画像を印刷します。

1 プリントの設定[P93]をし、印刷の準備をする[P126]

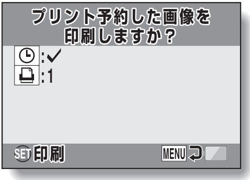
2 [MENU]ボタンを押す

- PictBridge MENUが出ます。



3 [予約画像印刷]を選び、[SET]ボタンを押す

- 予約画像印刷画面が出ます。
- プリントを予約した[P93]画像が出ます。



4 [SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。
- [SET]ボタンを押してから印刷を開始するまで、約1分ほどかかります。

ヒント

- 操作3で、方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、印刷する画像とDPOFの設定を確認することができます。

注意！

- DPOFにプリンタが対応していない場合は、予約画像印刷はできません。
- マルチ印刷はできません。

印刷設定を変えて印刷する（プリンタ設定変更）

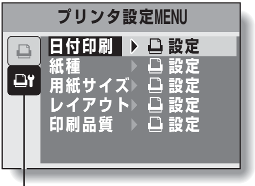
用紙の種類やサイズ、レイアウトや印刷品質などをカメラ側で設定して印刷します。

1 印刷の準備をする[P126]

2 [MENU]ボタンを押す

● PictBridge MENUが出ます。

3 プリンタ設定タグ［🖨🔧］を選び、[SET]ボタンを押す



プリンタ設定タグ

● プリンタ設定MENUが出ます。

[日付印刷]：
撮影年月日を印刷します。

[紙種]：
印刷用紙の紙質を設定します。

[用紙サイズ]：
印刷用紙のサイズを設定します。

[レイアウト]：
印刷用紙への画像の配置を設定します。

[印刷品質]：
印刷画像の美しさを設定します。

ダイレクト印刷をする(つづき)

4 プリンタの設定をする

❶方向ボタンを押して設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

・設定を選ぶ画面が出ます。

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して設定を選び、[SET]ボタンを押す

・選んだ項目を設定し、プリンタ設定MENUに戻ります。
・同じ要領で、必要な項目を設定してください。
・各項目で設定できる内容は、プリンタによって異なります。

<[設定]を選んだ場合>

・プリンタで設定している条件で印刷します。

ヒント

- プリンタ設定MENUの設定項目は、接続するプリンタによって異なります。
- プリンタ設定MENUに出ないプリンタ機能を使う場合は、[設定]に設定してください。
- プリンタにない機能をカメラで設定した場合、カメラの印刷設定は自動的に[設定]になります。

PCカメラとして使うには

Windows XP をお使いの場合、カメラをパソコンに接続し、PC カメラとして使うことができます。カメラを PC カメラとして使う場合は、Windows XP SP2 をインストールしてください。
PC カメラ機能は、Windows messenger 5.0 以降または MSN messenger 7.0 以降上で使用できます。

パソコンに接続する前に

以下のアップデートを実行してください。

- WindowsXP を SP2 にする
  WindowsXP SP2 をインストールしてください。
- Windows messenger 5.0 以降をインストールする
  Windows messenger 5.0 以降をダウンロードし、インストールしてください。
- MSN messenger を使う場合は、MSN messenger 7.0 以降をインストールしてください。

注意!

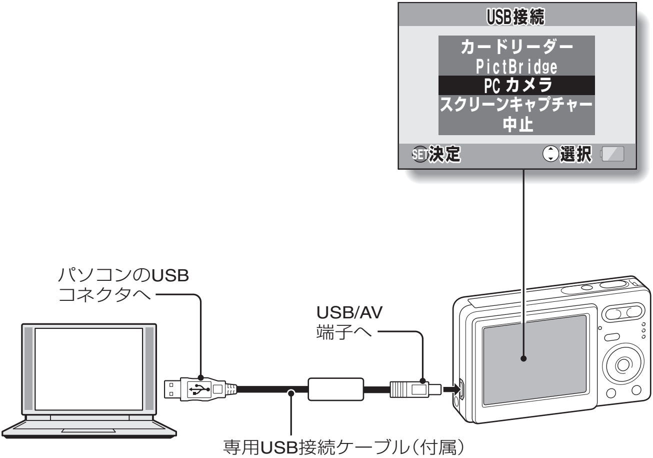
- PCカメラ機能が使えるのは、Windows XPをプリインストールしたパソコンのみです。Windows XPにアップグレードした環境での動作は、保証しません。
- PCカメラでは、ズームはできません。また、撮影・配信できるのは画像のみです。音声を記録・配信することはできません。
- PCカメラ時、カメラは1秒間に最大15フレームの撮影ができますが、通信回線の状態やパソコンの処理速度によってはこれを下回る場合があります。

PCカメラとして使うには(つづき)

パソコンにカメラを接続する

1 パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラのUSB/AV端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。



2 [PCカメラ]を選び、[SET]ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

ヒント

[マイコンピュータ]に[USB Video Device]アイコンが出ない場合は

- デバイスドライバのインストールに失敗している可能性があります。[コントロールパネル]の[プリンタとその他のハードウェア]を開き、[スキャナとカメラ]から[USB Video Device]を削除し、デバイスドライバを再度インストールしてください。

SANYO Software Packについて

SANYO Software Packには、以下のソフトウェアが入っています。
各ソフトウェアの概要は、139 ページをご覧ください。

- ・Quick Time 7：以降「QuickTime」と表記します。
- ・Photo Explorer8.5 SE Basic（Windows）/ Photo Explorer for Mac 2.0（Macintosh）：以降「フォトエクスプローラ」と表記します。
- ・MotionDirector SE 1.1（Windows）：以降「MotionDirector」と表記します。
- ・Xacti Screen Capture 1.0（Windows）：以降「Screen Capture」と表記します。

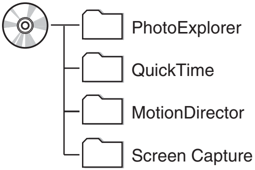
※フォトエクスプローラをインストールすると、動画クリップファイルを再生することができます。

CD-ROMのディレクトリ構造

SANYO Software Packのディレクトリ構造の概略は、以下のとおりです。

＜Windowsの場合＞

Sanyo DSC (D:)*



＜Macintoshの場合＞

Sanyo DSC



*：ドライブ名（D:）は、お使いのパソコンによって異なります。

より楽しんでいただくために（電子マニュアルについて）

弊社ホームページでは、暮らしの中でこのカメラを楽しんでいただくためのヒントを紹介しています。ホームページへは、SANYO Software Pack のトップ画面（インストール画面）からアクセスすることができます。ぜひご覧いただき、このカメラを存分にお楽しみください。

動作環境

Windows

ソフトウェア	CPU	メモリー	ハードディスク	OS
QuickTime	Pentium 以上	128MB 以上	11MB以上	Windows 2000/XP
フォトエクスプローラ	Pentium III 800MHz 以上	256MB 以上 (512MBを推奨)	80MB以上 (プログラムインストール用)	Windows Me/2000/XP
MotionDirector	Pentium III 1GHz 以上	256MB 以上 (512MBを推奨)	100MB 以上	Windows Me/2000/XP
Screen Capture	―	―	10MB以上	Windows 2000/XP
その他	Direct x8.1 以上			

Macintosh

ソフトウェア	CPU	メモリー	ハードディスク	OS
フォトエクスプローラ	Power PC 以降	64MB以上	20MB以上	Mac OS 9.0 以降 (CarbonLib 1.4以上) Mac OS X 10.1 以降

注意!

Mac OS XのClassic環境でお使いの場合

- カメラに装着したカード内のデータを直接読み書きすることはできません。データはいったんハードディスクに保存してください。

アプリケーションソフトウェアのインストール

SANYO Software Packには、以下のアプリケーションソフトウェアが入っています。
それぞれインストールし、お使いいただくことによって、カメラで記録したデータをより幅広く活用することができます。

●QuickTime＊

動画クリップを再生します。
このカメラで撮影した動画クリップを見る場合は、必ずインストールしてください(Windowsの場合)。

●フォトエクスプローラ

カメラで記録したデータをグラフィカルな画面で、分かりやすく管理することができます。

●MotionDirector

動画クリップ撮影時の手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した動画から、1枚のパノラマ静止画像を作成するソフトウェアです。

●Screen Capture

パソコンの画像をカメラに保存します。

＊：QuickTimeは、QuickTime Proにアップグレードできます。QuickTime Proは、QuickTimeムービーの編集などが可能です。QuickTime Proへのアップグレードは、アップルコンピューター･インクのホームページ（http://www.apple.com/jp/quicktime/)で行えます。

Windows

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)をCD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が出ます。
- インストール画面が出ない場合は、マイコンピュータにある[Sanyo DSC(D:)]をダブルクリックし、[Sanyo DSC(D:)]ウィンドウの[Autorun]または[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。

※ドライブ名(D:)は、お使いのコンピュータによって異なります。



アプリケーションソフトウェアのインストール(つづき)

2 インストールするアプリケーションソフトウェアの名称をクリックする

- インストール画面に出たアプリケーションソフトウェアの名称をクリックすると、インストールを開始します。
- [e－写真の世界へ]をクリックするとインターネットに接続し、このカメラを楽しんでいただくためのヒントを紹介しているホームページを表示します。
- インストールプログラムは、各アプリケーションソフトウェアが正しくインストールできるよう、あらかじめ設定しています。パソコンに慣れていない方は、各ダイアロクボックスの[次へ]ボタンをクリックすることをお勧めします。
- アプリケーションソフトウェアのユーザー登録に関するダイアログボックスが出た場合は、何も入力せずに[次へ]ボタンをクリックしてください。
- パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合は、パソコンを再起動してください。
- 各アプリケーションソフトウェアの詳細設定については、アプリケーションソフトウェアベンダーのホームページ、またはインストール後にオンラインヘルプを参照してください。

QuickTimeについて：http://www.apple.com/jp/quicktime/
フォトエクスプローラについて：http://www.ulead.co.jp/

3 [終了]をクリックする

Kodak オンラインサービスについて

- インストール画面が閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。このホームページを見る場合は[今すぐおすすめ情報を見る]、見ない場合は[あとでおすすめ情報を見る]オプションボタンをONにして、[OK] ボタンをクリックしてください。

Macintosh

フォトエクスプローラのインストール

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)をCD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、CD-ROMのウィンドウが開きます。
- CD-ROMのウィンドウが開かない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコン[Sanyo DSC]をダブルクリックしてください。

2 インストールする

- [Photo Explorer]フォルダの[Japanese]フォルダにある[Ulead Photo Explorer]フォルダをハードディスクにコピーします。
- コピーが終わったら、インストールは完了です。

ヒント

[Carbon Lib]フォルダについて

- お使いのパソコンのCarbonLibファイル(機能拡張ファイル)のバージョンが1.4未満の場合は、[Carbon Lib]フォルダにあるCarbonLibファイルを機能拡張フォルダにインストールしてください。

フォトエクスプローラの使いかた

カメラのデータをパソコンにコピーするには、マイコンピュータからカメラのドライブを開いて目的のデータをパソコンにコピーする方法と、フォトエクスプローラを使ってコピーする方法があります。ここでは、フォトエクスプローラでカメラのデータをパソコンにコピーする方法を説明します。フォトエクスプローラについての詳しい説明は、フォトエクスプローラのヘルプを参照してください。

環境を設定する

データのコピー元(カメラ内のデータの場所)を設定します。

Windows の場合

1 カメラをカードリーダーモードにする[P121]

- 「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスが出ます。
- カメラに装着したカードの内容を示すウィンドウ(リムーバブルディスク(E：))が開いた場合は、クローズボックスをクリックして閉じてください。



2 「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスの「常に選択されたプログラムで開く」チェックボックスをONにし、[OK]ボタンをクリックする

- 「ファイルのコピー先・・・」ダイアログボックスが出ます。
- 「常に選択されたプログラムで開く」チェックボックスをONにすると、次回から「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスは開きません。



3 「Ulead Photo Explorerを開く」オプションボタンをONにして[OK]ボタンをクリックする

4 ツールバーの[デジタルカメラウィザード]アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが出ます。



環境を設定する（つづき）

Windows の場合（つづき）

5 「カメラドライブとカードリーダー」の右にあるドライブ名(A：¥)をクリックする

- 「イメージソースを選択」ダイアログボックスが開きます。

6 「カメラドライブまたはメモリーカードリーダー」オプションボタンをONにし、「場所」リストボックスのカメラのドライブを選んで、[OK]ボタンをクリックする

- 「カメラウィザード」ダイアログボックスが閉じます。
- 「カメラドライブとカードリーダー」の右側のドライブ名が、操作6で指定したドライブに変わります。
- このままカメラに装着したカードのデータを読み込む場合は、[開始]ボタンをクリックしてください。カードのデータは、My Documents¥SANYO_PEXにコピーします。
- 設定だけを行う場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

Macintosh の場合

1 カメラをカードリーダーモードにする[P121]

[P121]

● デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。

2 フォトエクスプローラをインストールしたフォルダを開き、フォトエクスプローラのプログラムアイコンをダブルクリックする

● フォトエクスプローラが起動します。

3 ツールバーの[デジタルカメラウィザード]アイコンをクリックする

● 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが出ます。

4 「カメラフラッシュドライブ」欄のアイコンをクリックする

● 「取り外し可能なドライブを選択する」ダイアログボックスが開きます。

5 パソコンに接続したカメラのドライブ(名称未設定)をクリックし、[選択]ボタンをクリックする

● 「カメラフラッシュドライブ」欄のドライブ名が「名称未設定」になります。

6 「サブフォルダを作成」チェックボックスをONにする

● このままカメラに装着したカードのデータを読み込む場合は、[開始]ボタンをクリックしてください。
● 設定だけを行う場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

画像データをパソコンにコピーする

カメラに装着したカード内の画像データをパソコンにコピーします。

1 カードリーダーモードにする[P121]

2 フォトエクスプローラを起動する

3 ツールバーの[デジタルカメラウィザード]アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが開きます。

4 [開始]ボタンをクリックする

- コピーを開始します。
- 以下のフォルダ内に日付と時間名のフォルダを自動的に生成し、その中にデータをコピーします。
  Windowsの場合：My Documents￥SANYO_PEX
  Macintoshの場合：Macintosh HD:Ulead Photo Explorer
- コピーが終わったら、コピーの完了を示すダイアログボックスが出ます。

5 コピーが終わったら、[OK]ボタンをクリックする

- コピーしたデータをサムネイルウィンドウに表示します。

フォトエクスプローラでできること

フォトエクスプローラは、デジカメ画像からDVカメラのビデオファイル、MP3･WAVなどの音声ファイルまでマルチファイルを視覚的に統合管理できるソフトです。

基本画面

階層表示ウィンドウ

フォルダツリー構造をリストで表示できます。

サムネイルウィンドウ

さまざまなファイル形式データを一度にサムネイルに表示することができます。
フォルダ内の指定した複数のファイル名を一括して変更できます。

プレビューウィンドウ

選択したファイルを表示することができます。
動画クリップ・音声データが再生できます。

スライドショー

画像をいろいろ並べながら、スライド形式で画像を見ることができます。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

画像管理や編集ができます

再生機能

画像をフルサイズまたは全画面で表示することができます。
キーボード入力やツールバーボタンのクリック、メニュー選択で、画像の閲覧やスライドショー再生などの操作ができます。

画像管理・編集機能

画像データのコピーや削除、ファイル名の変更ができます。
また、回転やフリップなど、編集したデータを保存することもできます。

画像調整

切り抜きやコントラスト、明るさやカラーバランスなどの調整が簡単にできます。
作成したイメージを壁紙やスクリーンセーバーに利用できます。

豊富なスライドショー機能

スライドショー

静止画と動画クリップが混在したスライドショー再生ができます。
画面が切り替わる時のエフェクトパターン(切替効果)も、数多く用意しています。

動画クリップデータのデータ形式を変換できます

デジタルカメラで撮影した動画クリップ(Quick Time形式)をAVI形式やMPEG形式などに変換することができます。

■フォトエクスプローラのお問い合わせは?

フォトエクスプローラに関するお問い合わせは、「ユーリードシステムズ株式会社」へお願いいたします。
お問い合わせ先は、以下のとおりです。

メールでのお問い合わせURL
http://www.ulead.co.jp/support/inquiry/techsupport.htm

テクニカルサポートページ
http://www5.ulead.co.jp/support/

TEL:045-226-1966
受付時間:月曜日～金曜日(土、日、祝、年末年始を除く)
10:00～12:00、13:00～17:00

＜シリアル番号の見かた＞

● フォトエクスプローラの[ヘルプ]メニューから[Ulead Photo Explorer バージョン8.5]を選んでください。製品情報を記載したダイアログボックスが出ますので、シリアル番号を確認してください。

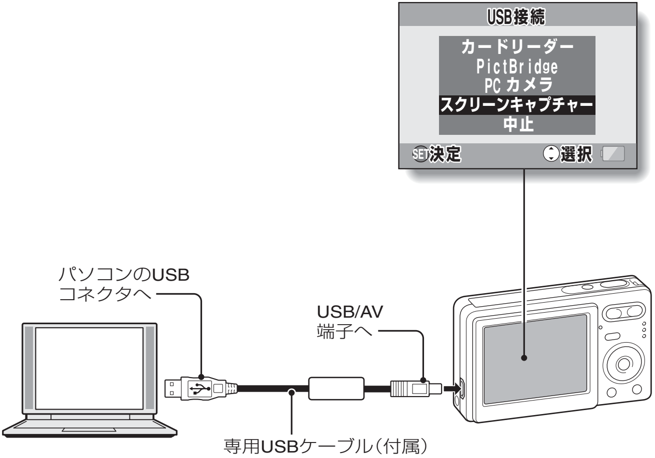
スクリーンキャプチャー

パソコンのモニター表示をウィンドウ単位でカメラに保存することができます。

パソコンにカメラを接続する

1 パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラのUSB/AV端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。



2 [スクリーンキャプチャー]を選び、[SET]ボタンを押す

パソコンの画面をカメラに保存する

1 Screen Captureを起動する

- Screen Captureは、パソコンを起動すると自動的に起動します。

＜Screen Captureを終了するには＞

- タスクトレイの[Xacti Screen Capture 1.0]を右クリックし、[アプリケーションの終了]を左クリックしてください。終了を確認する画面が出ますので、[はい]を左クリックしてください。
- Screen Captureを再度起動する場合は、[スタート]→[プログラム]→[Xacti Screen Capture 1.0]をポイントしてください。

2 カメラに保存したいウィンドウをパソコンのモニターに表示する

- 保存するウィンドウをアクティブにしてください。

3 シャッターボタンを押す

- 表示中のアクティブウィンドウをビットマップイメージでカメラに保存します。
- アクティブなウィンドウがない場合は、全画面を保存します。
- 保存データは、カードのドライブ:￥DCIM￥***_INFOフォルダに格納します。カメラで見る場合は、フォルダ再生[P43]を行ってください。
- スクリーンキャプチャーを終了するには、Screen Captureを終了してください。

ヒント

- スクリーンキャプチャーは、カメラを1台だけ接続して行ってください。
- 保存できる1画面当たりの最大ファイルサイズは10MBです。
- スクリーンキャプチャーを行っている時に、カメラの電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。データが壊れる原因になります。
  また、カメラのカードや内蔵メモリーのデータをパソコンから操作しないでください。正常に動作しない場合があります。

MotionDirector について

MotionDirector は、カメラで撮影した動画クリップの手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した動画クリップから 1 枚のパノラマ静止画像を作成するソフトウェアです。
以下にMotionDirectorの概要を紹介しますので、詳しくはMotionDirectorのオンラインヘルプを参照してください。

取り込み

MotionDirectorが読み込めるファイルの形式は

・MOV
・MP4

のいずれかです。
また、それぞれの圧縮コーデックは、以下のとおりです。

形式	動画コーデック	音声コーデック
MOV	Motion JPEG	WAVE
MP4	ISO MPEG-4	AAC

フレームサイズは、VGA(640x480画素)以下です。

書き出し形式と再生

MotionDirectorは、以下の形式でファイルを書き出すことができます。

手ぶれ補正の場合：MPEG-4、MOV
パノラマ合成の場合：JPEG、BMP、TIFF、QuickTimeVR

QuickTime VR形式で保存された画像は、Apple社のQuickTimePlayerを使用することでVR空間画像を見ることができます。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質　問	原　因	このようにしてください
電源	電源が入らない？	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	すぐに電池がなくなる？	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
		電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換してください。
	 表示が出る？	電池残量が少なくなった	別売のACアダプターを使用するか、充電してください。
撮影	タッチセンサーが効かない？	手ぶくろをしている	シャッターボタンを押す手の手ぶくろを脱いでください。
	フラッシュが光らない？	被写体が明るくて、カメラがフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している？	—	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。

よくある質問（つづき）

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	画像の使用目的に合った画質とは？	—	10M 7M 4M：サイズがA4以上の印刷やトリミング（部分拡大）して印刷する場合に適しています。 2M：通常の写真（サービス版）サイズで印刷する場合に適しています。 0.3M：ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。
	デジタルズームと光学ズームの使い分けは？	—	光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームはCCDに写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。
	遠景撮影時のピント外れをなくすには？	—	シーン機能を風景モード に設定して撮影してください。 または、フォーカスレンジをマニュアルフォーカスMFにして、焦点距離を∞に設定してください。

	質　問	原　因	このようにしてください
モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある？	液晶の性質による現象	故障ではありません。輝点などはモニターにのみ現れるもので、記録することはありません。
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある？		
再生画像	画像が明るすぎる？	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない？	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、ピントを固定してから、シャッターボタンを静かに押してください。
	ズームジャンプ再生できない？	ズームジャンプ再生で拡大して保存した画像や動画クリップはズームジャンプ再生ができません。	故障ではありません。
	画像が出ない(? 表示が出る)？	このカメラ以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	このカメラで撮影したカードを再生してください。
	縦の縞模様が出る？	明るい被写体を動画クリップ撮影した時は、モニターや撮影画像に縦の縞模様(スミア)が発生することがある	故障ではありません。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	拡大表示した画像が粗い?	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い?	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。 光学ズームの範囲内で撮影してください。
	パソコンで加工した画像をカメラで再生したい?	—	パソコンで加工したデータの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
印刷	PictBridge 印刷中にメッセージが出た?	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。
その他	[カード残量がありません][内蔵メモリー残量がありません]表示が出る?	カードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	不要なデータを消去するか、空き容量のあるカードを使用してください。
	「カードロックされています」表示が出る?	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	カメラの操作ができない?	カメラの回路が一時的に異常になった	AC アダプターおよび電池を取りはずしてしばらく放置した後、電池を入れ直してください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	海外で使用できる？	―	このカメラは日本国内仕様であり、海外ではアフターサービスも受けられません。AC アダプターや電源コードについては、最寄のお客さまご相談窓口にご相談ください。
	[システムエラー]表示が出た？	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても [システムエラー] 表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

困った状態になった時

故障かな？と思った時は、以下の項目をご確認ください。

カメラ

<table>
<tr><th></th><th>困った状態</th><th>原　　因</th><th>このようにしてください</th><th>参 照
ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">電源</td><td rowspan="3">電源が入らない</td><td>電池が消耗している</td><td>充電する</td><td>19</td></tr>
<tr><td>電池が正しく入っていない</td><td>電池の向きに注意し、正しく入れる</td><td rowspan="2">22</td></tr>
<tr><td>スロットカバーを完全に閉じていない</td><td>スロットカバーを完全に閉じる</td></tr>
<tr><td>なにもしていないのに電源が切れた</td><td>オートパワーオフ機能が働いた</td><td>故障ではありません。</td><td>25</td></tr>
<tr><td rowspan="3">撮影</td><td>シャッターボタンを押しても撮影ができない</td><td>電源が入っていない</td><td>オートパワーオフ機能が働いている時は電源を入れた後、撮影する
電源が切れている場合は、[ON/OFF] ボタンを押す</td><td>25</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シャッターボタンを押しても撮影ができない</td><td rowspan="2">撮影可能枚数/時間いっぱいに撮影している</td><td>カードを交換する</td><td>22</td></tr>
<tr><td>不要な画像を消去してから撮影する
必要な画像は保存してから消去する</td><td>46
・
119</td></tr>
</table>

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	方向ボタンや［MENU］ボタンなどの操作が効かない	シャッターボタンに指が触れ、フォーカスロックをした状態になっている	シャッターボタンから指を離して、ボタンを操作する	—
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	59
		電池が消耗している	充電する	19
	デジタルズームが使えない	解像度を 10M に設定している	解像度の設定を 7M 以下にする	70
	「電池残量がありません」メッセージが出る	電池が消耗している	充電する	19
	ズームを操作した時、ズーム動作が一瞬止まることがある	光学ズームが最大倍率になった	故障ではありませんズームスイッチをはなし、再度押す	58
	撮影画像にノイズが出る	ISO感度が高すぎる	ISO感度を低く設定する	77
	蛍光灯照明の下での動画クリップ撮影時、撮影画像に激しいフリッカー（画面のちらつき）が発生する	シャッタースピードが速くなるための現象	ISO 感度の設定を 800 以外にする	77

困った状態になった時(つづき)

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
モニター	再生画像が出ない	再生モードになっていない	再生ボタン[▶]を押す	33
再生画像	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	29
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する	166
		逆光で撮影した	強制発光モードで撮影する	59
			露出補正をする	79
		光量が不足していた	ISO 感度を設定する	77
	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	59
		被写体が明るすぎた	露出補正をする	79
		ISO感度の設定が正しくない	ISO感度の設定を ISO-A にする	77
	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	フォーカスを正しく設定する	38・63
		フォーカスの設定が正しくない		
		シャッターボタンを押す時にカメラが動いた	カメラを正しく構え、シャッターボタンを正しく押す	29・38
		フォーカスロックができていない		
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	―

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	59
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	78
	画像の一部が欠けている	レンズに指やストラップなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップなどがかからないようにする	29
	[画像がありません]表示が出る	装着しているカードまたは内蔵メモリーに画像がない	撮影してから再生する	38・40
画像編集	画像の加工や回転ができない	画像にプロテクトを設定している	プロテクトを解除してください。	83
その他	[プロテクトされています]表示が出て、データを消去できない	消去しようとしているデータにプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	83
	「撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間[P168]」に記載の記録ができない	記録容量が、カードに表示している数値より少ない	カードの仕様によっては、カードに表示している記録容量を持たない場合があります。詳しくは、カードの説明書をご覧ください。	168

困った状態になった時(つづき)

シーン機能の制限事項

	フォーカスレンジをマクロ には設定できません。
	
	解像度を 4M 以上に設定できません。 1 枚撮影時でも、フラッシュは使えません。
	フォーカスレンジをマクロ には設定できません。
	
	フォーカスレンジをマクロ 、マニュアルフォーカス MF には設定できません。 1 枚撮影時でも、フラッシュは使えません。 フォーカス方式を AF シーカー AF には設定できません。
	フォーカスレンジをパン PF、マクロ 、マニュアルフォーカス MF には設定できません。 フォーカス方式を AF シーカー AF には設定できません。
	解像度を 10M に設定できません。

仕　様

カメラの仕様

形式	CCDデジタルカメラ(記録・再生型)
記録画像ファイルフォーマット	**静止画像：**JPEG形式 (DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠) (注) DCFは(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：**QuickTime Movie(Photo-JPEG) **音声：**WAVE(モノラル)
記録媒体	内蔵メモリー：約23MB 外部メモリー：SDメモリーカード(4GB SDHCメモリーカードに対応)、マルチメディアカード
カメラ部有効画素数	約710万画素
撮像素子	1/2.5型CCD、総画素数：約741万画素、インターレーススキャン、原色フィルター
記録画素数	10M：3,680×2,760ピクセル(1枚撮影のみ) 7M：3,072×2,304ピクセル(1枚撮影･連写撮影のみ) 4M：2,288×1,712ピクセル(1枚撮影･連写撮影のみ) 2M：1,600×1,200ピクセル(1枚撮影･連写撮影のみ) 0.3M：640×480ピクセル(1枚撮影･連写撮影のみ) TV：640×480ピクセル、30フレーム/秒(動画クリップ撮影のみ) WEB：320×240ピクセル、15フレーム/秒(動画クリップ撮影のみ)
ホワイトバランス	フルオート TTL、マニュアル設定可能

仕　様（つづき）

レンズ	光 学 3.0 倍ズームレンズ	f = 6.3mm ～ 18.9mm （35mm フィルムカメラ換算：38mm ～ 114mm） オートフォーカス、5 群 6 枚（非球面 6 面）
絞り	開放 F=3.1（Wide）～5.9（Tele）	
露出制御方式	プログラムAE 撮影MENUによる露出補正機能あり（0±1.8EV 0.3EVステップ）	
測光方式	多分割測光、中央重点、スポット測光	
撮影範囲	通常撮影　：10cm ～∞（Wide）、60cm ～∞（Tele） マクロ撮影：5cm ～ 80cm（Wide）、 60cm ～ 80cm（Tele）	
デジタルズーム	撮影時：1～4倍（解像度10Mを除く） 再生時：1～57.5倍（解像度により異なる）	
シャッタースピード	1枚撮影モード：1/2～1/2,000秒 （最長約２秒：シーン機能花火 時など） （フラッシュ発光時：1/30 ～ 1/2,000 秒） 連写撮影モード：1/2～1/2,000秒 動画クリップ撮影モード：1/30～1/10,000秒	
感度	1枚撮影モード、連写撮影モード： オート（ISO50～400相当）/ISO50、100、200、400、800相当（撮影MENUによる切り替え） 動画クリップ撮影モード： オート（ISO200～800相当）/ISO200、400、800、1,600、3,200相当(撮影MENUによる切り替え）	
モニター	2.5型TFTカラー液晶 約11.5万画素 （視野率約 100%） 明るさ調整：5 段階，AUTO	

フラッシュ撮影範囲	GN=6 {約40cm〜3.8m(Wide) 約60cm〜2.0m(Tele)	
フラッシュモード	自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減	
フォーカス	TTL方式AF(9点測距/スポット/AFシーカー)・マニュアルフォーカス(14段階)	
セルフタイマー	作動時間約2秒/10秒	
使用環境	温度	0〜40℃(動作時)、−20〜60℃(保管時)
	湿度	30〜90%(動作時、非結露) 10〜90%(保管時、非結露)
電源	電池	リチウムイオン電池(DB-L20)×1本
	AC アダプター(別売)	VAR-G8
大きさ(最薄部:グリップおよびレンズ突起を含まず)		91.1(幅)× 55.5(高さ)× 21.6(奥行き)mm
質量		約116g(電池・カード別)

仕　様（つづき）

カメラ各端子の仕様

USB/AV（通信 / 音声・映像出力）端子	専用ジャック	
	音声出力	880mVrms（−1.1dBs）・2.2kΩ以下・モノラル
	映像出力	1.0Vp-p・75Ω不平衡・同期負・コンポジットビデオ、日米標準 NTSC カラー TV 方式 /PAL カラー TV 方式（オプション MENU による切り替え）
	USB	USB 2.0 Full-Speed PC カメラ：USB ビデオクラス
DC IN（外部電源入力）端子	DC5V（別売 AC アダプター VAR-G8 専用）	

電池寿命

撮影可能枚数	310 枚：CIPA 規格によります（東芝製 128MB SD メモリーカード使用時）
再生可能時間	500 分：液晶モニターを点灯し、連続して再生した場合

- 十分に充電した付属の電池を使い、常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用したときは、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間

内蔵メモリー、市販品のSDメモリーカード(512MB、4GB)を使用した場合の撮影可能枚数と撮影可能時間は以下のとおりです。

撮影モード設定	解像度設定	圧縮率設定	内蔵メモリー使用時	SDメモリーカードの種類 512MB使用時	SDメモリーカードの種類 4GB使用時
1枚撮影モード 連写撮影モード	10M*	FINE	7枚	148枚	1,190枚
		NORM	10枚	222枚	1,770枚
	7M	FINE	10枚	213枚	1,700枚
		NORM	15枚	319枚	2,530枚
	4M	FINE	18枚	382枚	3,020枚
		NORM	29枚	562枚	4,430枚
	2M	FINE	36枚	754枚	5,900枚
		NORM	55枚	1,140枚	8,860枚
	0.3M	FINE	187枚	3,860枚	9,990枚
		NORM	249枚	5,150枚	9,990枚
動画クリップ撮影モード	TV	ー	16秒	5分40秒	44分57秒
	WEB	ー	1分14秒	25分47秒	3時間26分
音声記録モード	ー	ー	49分49秒	17時間11分	99時間59分

*：1枚撮影時のみ設定可能です。

- 音声の連続記録時間は、最大9時間です。
- Sandisk製SDメモリーカードを使用した値です。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影(録音)時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

仕　様(つづき)

付属の充電器の仕様

品番		VAR-L20N
電源		AC100-240V・50/60Hz、10VA
定格出力		DC4.2V、650mA
適合電池		付属または別売のリチウムイオン電池(DB-L20)
使用環境	温度	0〜40℃(充電時)、−20〜60℃(保管時)
	湿度	20〜80%(非結露)
大きさ		46(幅)×21.2(高さ)×92(奥行き)mm
質量		約55g

付属のリチウムイオン電池の仕様

品番		DB-L20
電圧		3.7V
定格出力		720mAh
使用環境	温度	0〜40℃(機器使用時・充電時) −10〜30℃(保管時)
	湿度	10〜90%(非結露)
大きさ		39.4(幅)×6.0(高さ)×35.5(奥行き)mm
質量		約19g

その他

電波障害自主規制について

- この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

仕　様(つづき)

CD-ROM の使用許諾について

- 本CD-ROMを無断で複製することはできません。
- 本CD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
- 本CD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

Macintosh、QuickTimeは米国Apple Computer, Inc.の商標または登録商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntelおよびPentiumは、米国インテル社の登録商標です。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、 Microsoft® Windows® XP operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

ソフトウェア Red Eye by FotoNation™ 2003-2005 は、FotoNation®社の商標です。

Red Eye software© 2003-2005 FotoNation In Camera Red Eyeは、米国特許(No. 6,407,777)および申請中特許を使用しています。

SDHCは商標です。

その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

索　引（50音順）

名称・用語

操作

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

付録

索引

用語集

あ

赤目
目の血管にフラッシュの光が反射して、瞳孔部分が赤く写ってしまう現象。夜の屋外などの暗い場所で、目の瞳孔が開いているときに生じやすい。

か

解像度
ある一定の範囲内に点または線が何個あるかを示すことによって、その画像のキメの細かさを表す尺度。たとえば、dpi（ドット･パー･インチ）という場合は、1インチ平方内に含まれるドットの数を表す。

光学ズーム
従来は単に「ズーム」といっていたが、デジタルカメラの普及でデジタルズームと区別するために使う。実際にレンズを動かして焦点距離を変えることで、レンズに入った光がCCDに像を結ぶまでの距離が変わる。レンズの焦点距離を短くすると広い範囲が写り広角となり、焦点距離を長くすると写る範囲が狭くなるが遠くのものが大きく写り、望遠となる。
参照：焦点距離

さ

絞り
目の瞳のようにレンズの開口部を大小調節し、光の量を制限する機構。絞りによって調整される値を「絞り値」または「F値」といい、「F1、F1.4、F2、F2.8、F4……」と表記される。この数値を大きくすることを「絞る」、小さくすることを「開ける」という。絞りの数値が大きくなると、それだけCCDに当たる光の量が少なくなる。

シャッタースピード(シャッター速度)
時間によってCCDに当たる光の量を制限する機構。メカニカルシャッター搭載機の場合は、機械的な遮断幕を使い、電子シャッター搭載機の場合は、CCDのON/OFFによって時間を制御する。 シャッタースピードを速くすると、それだけCCDに光が当たる時間が短くなる。

焦点距離
レンズの中心点からレンズが像を結ぶ点（焦点）までの距離をmmで表したもの。同じ位置から撮影する場合、この数値が長いほど被写体は大きく写り(望遠)、短いほど小さく写る(広角)。なお、同一の焦点距離であっても、CCDのサイズが異なれば、画面に写る範囲は違ってくる。そのため、デジタルカメラの場合は35mmフィルムの焦点距離に換算して表記する。

シーンセレクトショット
スポーツモード、ポートレートモード、夜景ポートレートモードなど、撮りたいシーンに合わせてモードを選ぶだけで、絞りやシャッタースピードを自動で設定できる機能。カメラに詳しくなくとも、簡単に綺麗な写真が撮れる。例えば、スポーツモードは高速シャッターをきりたいとき、ポートレートモードは(ぼけを引き出すために)できるだけ開放F値に近い絞り値で撮影したいときに使う。

スポット測光
画面内の狭い一部分だけを測光する方式。画像の特定の部分に正確な露出が必要な場合に適している。舞台照明(スポットライトを浴びている人物の撮影)や逆光での撮影など、主要被写体と背景との間に大きな明るさの差がある場合に役立つ。

スミア
太陽などの強い光源を画面中に入れて撮影した場合に発生する光の筋で、

CCDを使用する機器で起こる現象(強い光源を撮影したときに、垂直転送路に電荷が流れ込んで発生する)。

スローシンクロ
低速シャッターを使いながら、同時にストロボを発光させること。通常のストロボ発光モードの場合は、手ブレの生じにくいシャッタースピードに自動設定される。ところが、スローシンクロモードの場合は、その自動設定が解除され、低速シャッターを使うことができるので、意図的にブレを表現したり、ストロボ光の届かない背景まで明るく写し出すことができる。

た

デジタルズーム
撮影時に画像の1部分を切り取って拡大し、望遠レンズを使ったようにみせる機能。この場合、焦点距離を変える通常の光学式ズームに比べて画質は劣る。デジタルズームが登場したため、レンズを動かして実際の焦点距離を変えるズームを「光学ズーム」と呼んで区別するようになった。

テレ
望遠のこと。ズームレンズの望遠側、つまり焦点距離の長い側を指す。

な

ノイズ
撮影時に入るゴミのようなドットのこと。画像を拡大すると分かるが、本来ないはずの色が、ドット単位で点在する。発生原因はいくつかあるが、CCDはシャッター速度が一定以上遅くなるとノイズが増加する傾向にある。

ノイズリダクション
撮影時に入るノイズを取り除くこと。パソコン上でソフトを使って行うことができる。撮影時(主にスローシャッター時)にノイズリダクションを行えるデジタルカメラもある。

は

被写界深度
ピントが合っているように見える範囲。レンズはCCD上に面として被写体を結像させるが、ピントを合わせた面の前後の範囲内もピントが合っているように見える。この範囲のことを指す。なお、被写界深度は、レンズの焦点距離が長いほど浅く(ピントのあう範囲が狭く)、短いほど深い(ピントのあう範囲が広い)。また、絞りを開けるほど浅くなり、絞るほど深くなる。

フラッシュ
シャッターと同時に瞬間的な光を発する照明装置。ストロボやスピードライトともいう。デジタルカメラに内蔵されたフラッシュは自動調光式なので、最適な露光値になるように瞬間的に発光量を制御するセンサーが搭載されている。

ホワイトバランス設定
様々な光源の下で白い色を決めること。また、さまざまな色温度を持った光源下で白い被写体を白く写すための機能。白はすべての色の基準となるので、白を決めれば自然な色合いで撮影することができる。人間の眼には高性能のホワイトバランス機能があるので普段意識することはないが、CCDやフィルムでは、電球下では赤く写ったり、蛍光灯下では緑色に写る(色の補正がされない)。機種によってオート・固定・マニュアルの違いはあるが、デジタルカメラやビデオカメラには必ず搭載されている。

ら

露出
CCDに光を当てること。もしくは、その量を示す。光を当てすぎると写真が白く(明るくなり過ぎに)なり、少ないと写真が黒く(暗くなり過ぎに)なる。白くなり過ぎる場合はオーバー(露出オーバー)と呼び、黒くなり過ぎる場合はアンダー(露出アンダー)と呼ぶ。

露出補正
カメラに内蔵された露出計は、その被写体状況を十分に判断できないことがままある。特に白い被写体や黒い被写体は、アンダーやオーバーになりやすい。そこで、カメラの判断した露出に対して、より明るく、または暗く写るように補正を加えること。また、意図的に明るく写したり、暗く写したりする場合にも使用する。

A

AE
「Auto Exposure(自動露出)」の略。被写体の明るさをカメラが判断して、自動的に露出を決めてくれる機能のこと。大別すると、プログラムAE、絞り優先AE、シャッタースピード優先AEの3タイプがある。 プログラムAEでは、状況に合わせて最適な絞りとシャッタースピードの組み合わせをカメラが自動的に判断してくれる。

C

CCD
「Charge Coupled Device」の略。レンズから入った光を感じて電気信号に変換するセンサーのこと。画像を取り込む、銀塩カメラでいうフィルムに相当する部分。トンボの複眼のように小さな目が並んでおり、その数が画素数(総画素数)となる。そこから出力される情報のうち、静止画データとして有効に反映される画素の数を「有効画素数」と呼ぶ。CCDを日本語で「電荷結合素子」ともいう。

E

EV
「Exposure Value」の略。露光量を表す単位で、絞り値F1.0でシャッタースピード1秒の露光量を「EV0」と定め、そこから絞り値またはシャッタースピードが1段上がるごとに「EV1、2、3･･･」と増えていく。

F

F値
絞りの数値。カタログのスペックを見る場合、大文字の「F」の場合はレンズの明るさ（開放絞り値）を表し、数値が小さいほど暗い場所でも比較的速いシャッタースピードを使うことができる。小文字の「f」の場合はレンズの焦点距離を表す。

fps
「Frame Per Second」の略。1秒間に何枚の画像を表示しているかを示しており、動画のなめらかさを表す。

I

ISO感度
フィルムの光に対する敏感さを数値化したもので、最適な再現をするために必要な露光量の目安数値にもなる。ISOとは国際標準化機構のこと。デジタルカメラの場合はこのような基準がないため

「ISO100相当」のように目安として数値が大きいほど、暗い場所での撮影に強いことを示す。

J

JPEG
画像を効率よく圧縮アルゴリズムを使った画像ファイル形式を指す。容量を小さくできるので多くのデジタルカメラに使われている。非可逆圧縮なので、圧縮率を高くすればするほど元画像クオリティは損なわれてノイズが生じる。

P

PictBridge(ピクトブリッジ)
デジタルカメラとプリンタを直接つないで印刷するための業界標準規格。CIPA(カメラ映像機器工業会)によって策定された。デジタルカメラと対応プリンターを付属のケーブルで接続するだけで、パソコンを介さず直接写真のプリント指示ができる。メーカーが違っても、双方がPictBridge対応ならばUSBケーブルで接続して印刷可能。カメラの液晶モニターでプリントしたい写真を選ぶことができ、プリントメニューも表示される。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談　三洋電機(株)お客さまセンター

受付時間：9：00〜18：30(365日)

総合相談窓口　☎ **050−3116−3434**

※上記番号をご利用できない場合は ☎ **大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5

FAX：大阪(06)6994ー9510

修理サービスについてのご相談　三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日〜金曜日　9：00〜18：30
土曜・日曜・祝日　9：00〜17：30

修理相談窓口

◆東コールセンター

関東・甲信越地区	東　京 福　島 新　潟 長　野	☎ 050−3116−2222 ☎ 東京(03)5302−3401
北海道地区	札　幌	☎ 050−3116−2333
東北地区	宮　城	☎ 050−3116−2444

◆ 西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	大　阪 金　沢 高　松	☎ 050－3116－2555 ☎ 大阪(06)4250－8400
中部地区	名古屋	☎ 050－3116－2666
中国地区	広　島	☎ 050－3116－2777
九州地区	福　岡	☎ 050－3116－2888

沖縄地区	沖　縄	☎ 098－9444－5018

受付時間：月曜日～土曜日　9:00～12:00、13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談 三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日～土曜日　9：00～17：30(日曜、祝日を除く)

持込み修理および部品については、各地区サービスセンターで承っております。

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。
  なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取扱いについての詳細
ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

お客さまご相談窓口（つづき）

北海道地区	東北地区
北海道 **札　幌　☎(011)831−9201** 〒003-0013　札幌市白石区中央三条4−1−36 **函　館　☎(0138)48−8301** 〒041-0824　函館市西桔梗町 589−295 **苫小牧　☎(0144)57−8707** 〒059-1364　苫小牧市沼ノ端230−1034 **旭　川　☎(0166)22−2421** 〒070-0073　旭川市曙北三条7−3−3 **北　見　☎(0157)23−4871** 〒090-0037　北見市山下町4−7−14 **釧　路　☎(0154)22−1576** 〒085-0035　釧路市共栄大通3丁目1番6号青木ビル	**秋田県** **秋　田　☎(018)862−6551** 〒011-0901　秋田市寺内イサノ93−1 **福島県** **郡　山　☎(024)945−6793** 〒963-0107　郡山市安積3−120

東北地区	関東・甲信越地区
宮城県 **仙　台　☎(022)287−8351** 〒984-0032　仙台市若林区荒井字丑ノ頭43−1 **青森県** **青　森　☎(017)729−3401** 〒030-0141　青森市大字上野字山辺29−5 **八　戸　☎(0178)28−9225** 〒039-1121　八戸市卸センター1−6−7 **岩手県** **盛　岡　☎(019)623−1600** 〒020-0824　盛岡市東安庭2−12−1 **水　沢　☎(0197)23−6621** 〒023-0003　奥州市水沢区佐倉河字羽黒田45 **山形県** **山　形　☎(023)641−1769** 〒990-2331　山形市飯田西4−5−35 **酒　田　☎(0234)23−3817** 〒998-0842　酒田市亀ケ崎6−7−16	**埼玉県** **さいたま　☎(048)778-3095** 〒362-0025　上尾市上尾下780−1 **坂　戸　☎(049)284−8900** 〒350-0214　坂戸市千代田5−3−17 **栃木県** **栃　木　☎(028)614−3883** 〒321-0111　宇都宮市川田町字免ノ内765−5 **茨城県** **茨　城　☎(0298)64−4751** 〒300-3261　つくば市花畑2−15−3 **水　戸　☎(029)251−4125** 〒311-4152　水戸市河和田3−2386−1 **群馬県** **群　馬　☎(0270)40−7611** 〒372-0003　伊勢崎市華蔵寺町87−1 **新潟県** **新　潟　☎(025)285−2431** 〒950-0942　新潟市小張木2−16−43 **長　岡　☎(0258)46−8065** 〒940-2127　長岡市新産2−9−4 **上　越　☎(025)543−3535** 〒942-0081　上越市五智1−11−8齊藤オフィス

関東・甲信越地区

東京都

城　東　☎(03)5697－8160
〒120-0005　足立区綾瀬7－22－15
綾瀬7丁目ビル

城　北　☎(03)5914－3413
〒174-0051　板橋区小豆沢(アズサワ)
1－23－10

城　西　☎(03)5347－0761
〒167-0032　杉並区天沼3丁目12番12号
テック杉並

武蔵野　☎(042)364－7721
〒183-0033　府中市分梅町5－9－1

相模原　☎(042)788－2760
〒194-0012　町田市金森851－3

神奈川県

戸　塚　☎(045)827－2831
〒224-0806　横浜市戸塚区上品濃9－14

京　浜　☎(044)740－3530
〒211-0041　川崎市中原区下小田中
5－11－21

平　塚　☎(0463)55－3926
〒254-0014　平塚市四之宮3－20－60

千葉県

千　葉　☎(043)208－3800
〒260-0842　千葉市中央区南町3－7－15

鎌ケ谷　☎(047)441－0111
〒273-0105　鎌ケ谷市鎌ケ谷7－6－59

山梨県

山　梨　☎(055)226－2561
〒400-0035　甲府市飯田4－8－23

中部・北陸地区

愛知県

名古屋　☎(052)979－3455
〒461-0025　名古屋市東区徳川1－901
サンエース徳川ビル1F

中部・北陸地区

名古屋西　☎(052)485－3620
〒453-0816　名古屋市中村区京田町2－1

岡　崎　☎(0564)23－3418
〒444-0860　岡崎市明大寺本町1－20

岐阜県

岐　阜　☎(058)246－3417
〒501-6006　岐阜県羽島郡岐南町伏屋
1－35

静岡県

静　岡　☎(054)236-0691
〒422-8034　静岡市駿河区高松2丁目
26－10

沼　津　☎(055)935－0501
〒410-0822　沼津市下香貫七面1152－2

浜　松　☎(053)461－8685
〒430-0812　浜松市本郷町123

長野県

松　本　☎(0263)40－3411
〒390-0852　松本市島立1064－1

長　野　☎(026)299－9501
〒388-8006　長野市篠ノ井御幣川字東松島
1000－2

石川県

金　沢　☎(076)292－2060
〒921-8005　金沢市間明町2－100

富山県

富　山　☎(076)422－7020
〒939-8211　富山市二口町1－13－8

福井県

福　井　☎(0776)53－7134
〒910-0834　福井市丸山1－1002

三重県

三　重　☎(059)236－ 5195
〒514-0111　津市一身田平野285－2

お客さまご相談窓口（つづき）

近 畿 地 区

大阪府
大　阪　☎(06)6992－6235
〒570-0086　守口市竹町4－13
大阪南　☎(06)6761－4600
〒543-0001　大阪市天王寺区上本町5－1－14　三洋ビル2F
大阪東　☎(072)965－1811
〒578-0903　東大阪市今米2－3－29
阪　和　☎(072)221－8571
〒590-0026　堺市向陵西町2－1－24

京都府
京　都　☎(075)645－1434
〒612-8427　京都市伏見区竹田真幡木町26－1
三　丹　☎(0773)24－3405
〒620-0062　福知山市和久市町290番地　和久市岩堀ビル2F

奈良県
奈　良　☎(0744)22－7888
〒634-0817　橿原市寺田町113－1

滋賀県
滋　賀　☎(077)514－2221
〒524-0021　守山市吉身4丁目1－24　南井産業第3ビルB棟

和歌山県
和歌山　☎(073)473－7112
〒640-8301　和歌山市岩橋1636－1
田　辺　☎(0739)22－7520
〒646-0051　田辺市稲成町南江原318

兵庫県
神　戸　☎(078)641－1251
〒653-0038　神戸市長田区若松町2－1－9　ピアザビル3F
阪　神　☎(06)6432－3401
〒661-0026　尼崎市水堂町4－17－6
姫　路　☎(0792)82－7892
〒670-0943　姫路市市之郷町1－9
淡　路　☎(0799)42-6015
〒656-0478　南あわじ市市福永536－1

中 国 地 区

広島県
広　島　☎(082)293－6511
〒733-0012　広島市西区中広町2－1－2
福　山　☎(084)954－4101
〒721-0952　福山市曙町4－22－10

岡山県
岡　山　☎(086)245－1634
〒700-0973　岡山市下中野703－101
津　山　☎(0868)22－6133
〒708-0002　津山市上河原239－10

鳥取県
鳥　取　☎(0857)24－2930
〒680-0843　鳥取市南吉方3－107

島根県
浜　田　☎(0855)22－7883
〒697-0023　浜田市長沢町3049
松　江　☎(0852)23－1183
〒690-0044　松江市浜乃木2－15－3

山口県
山　口　☎(083)973－3391
〒754-0024　山口市小郡若草町2－6

四 国 地 区

愛媛県
愛　媛　☎(089)979－3486
〒799-2655　松山市馬木町274番地
四　国　☎(0896)23－3416
〒799-0404　四国中央市三島宮川2丁目732－4

香川県
香　川　☎(087)843－1840
〒761-0101　高松市春日町片田1657－1

高知県
高　知　☎(088)831－2570
〒780-8007　高知市仲田町6－12

徳島県
徳　島　☎(088)699－4131
〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189－1

九　州　地　区	九　州　地　区
福岡県 **福　岡　☎(092)928ー3414** 〒818-8534　筑紫野市紫6ー1ー1 **北九州　☎(093)521ー5286** 〒802-0004　北九州市小倉北区鍛冶町2ー4ー7 **中九州　☎(0942)37ー3934** 〒830-0038　久留米市西町105ー18 **長崎県** **長　崎　☎(095)813ー3545** 〒851-0101　長崎市古賀町1006ー5 **佐世保　☎(0956)31ー7635** 〒857-1162　佐世保市卸本町17ー1 **熊本県** **熊　本　☎(096)388ー3434** 〒861-8045　熊本市小山3丁目2番11号 熊本トラックターミナル内 **八　代　☎(0965)35ー3483** 〒866-0871　八代市田中東町12ー7 **大分県** **大　分　☎(097)543ー3454** 〒870-0829　大分市椎迫5ー6組	**宮崎県** **宮　崎　☎(0985)29ー3441** 〒880-0022　宮崎市大橋3ー224 **鹿児島県** **鹿児島　☎(099)251ー4615** 〒890-0068　鹿児島市東郡元町11ー10

沖　縄　地　区
沖縄県 **沖　縄　☎(098)944ー5018** 〒903-0103　沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■この商品は保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P179]」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DSC-E7)
3. 製造番号(保証書に記入)
4. お買い上げ年月日(保証書に記入)
5. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間：9：00～18：30(365日)

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電製品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

☎ 050−3116−3434

※上記番号をご利用できない場合は **☎大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5
FAX：大阪(06)6994ー9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋コンシューママーケティング(株)の「修理相談窓口 [P179]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）

9:00～12:00、13:30～17:00

DIカンパニー　お客さま相談係

電話　大東（072）870-4184（直通）

アフターサービスについて（つづき）

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどの時に便利です。

品　　番	DSC-E7
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店	電話（　　）　—
もよりのお客さまご相談窓口	電話（　　）　—

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 2000 □Windows Me □Windows XP	□Mac OS 9.x □Mac OS X以降

MEMO

MEMO

MEMO

撮影のヒント

難しく思える被写体でも、少し工夫をすると、より上手に撮影できます。

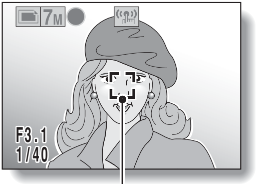
基本的な撮影

■オートフォーカスなのにピントが合わないのはなぜ？

このカメラはオートフォーカス機能を搭載しており、オートフォーカスを使った撮影では、カメラがピントを自動的に合わせます。しかし、それでもピントが合わないのはなぜでしょうか？

●オートフォーカスの動作

このカメラのオートフォーカスは、シャッターボタンに触れた時点で動作します。
オートフォーカスが働いてピントが合うと、モニターにターゲットマークが出ます。
そして、そのまま静かにシャッターボタンを押し込むとシャッターが切れます。
このようにして撮影をすると、ピントが合います。



ターゲットマーク

●ピントが合わない原因

1：ピントが合う前にシャッターボタンを押した

2：ピントを合わせた後に、被写体が動いた

- 一度オートフォーカスでピントを合わせても、被写体や撮影者が動いて撮影距離が変わると、ピントが合わない場合があります。

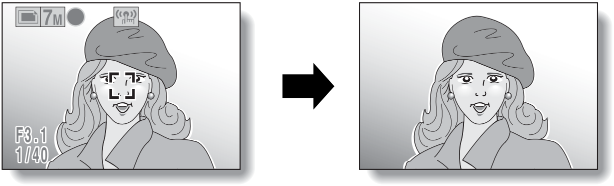
3：フォーカスの設定が、撮影距離に合っていない

- マクロモード[P63]で遠景を撮影したり、通常モードで至近距離の被写体を撮影するとオートフォーカスが働かないので、ピントが合いません。

●ピントをしっかり合わせるには

①フォーカスの設定が正しいことを確認してください。
②カメラを正しく構えてシャッターボタンに触れてください。
③モニターにターゲットマークが出るのを待ち、ひと呼吸おいてシャッターボタンを静かに押し込んでください。

このように、落ち着いてシャッターボタンを操作すると、ピントが合った美しい写真を撮影することができます。



■動きのある被写体の撮影は？

運動中のお子さまやペットなどの写真は、オートフォーカスでピントを合わせても被写体までの距離が刻々と変わるため、ピンボケになる可能性があります。特に、カメラに対して前後に動く被写体には、なかなかピントが合いません。動きのある被写体に、うまくピントを合わせる方法はないのでしょうか？

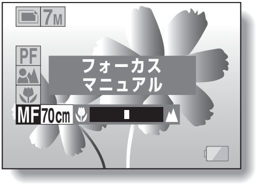
●ピンボケの原因

オートフォーカスは、シャッターボタンに触れた時点の距離にピントを合わせるため、被写体が動くとピントがはずれてしまいます。また、オートフォーカスが動作するのを待っていては、シャッターチャンスを逃してしまう場合もあります。逆に、シャッターチャンスにシャッターボタンを一気に押すとピントが合わず、やはりピンボケの原因になります。

●ピンボケを防ぐには（マニュアルフォーカスモードを活用する [P65]）

このカメラのフォーカス機能には、マニュアルフォーカスモードがあります。

シャッターボタンを押した時に被写体までの距離を測ってピントを合わせるオートフォーカスに対し、マニュアルフォーカスモードでは、あらかじめピントを被写体までの距離に設定しておいて撮影します。



●**撮影のしかた**

①フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定し、焦点距離を被写体までの距離に設定します。

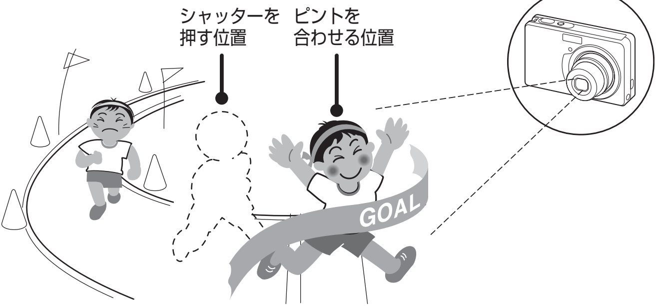
②被写体が設定した焦点距離に来たら、静かにシャッターボタンを押し込みます。

＜マニュアルフォーカスの利点＞

- ピント合わせに要する時間を省くことで、素早く撮影ができます。
- あらかじめ焦点距離を設定しているので、ピントをより正確に合わせることができます。

＜マニュアルフォーカスの有効な使いかた＞

- 動きが速い被写体を撮影する場合は、被写体が撮影距離に達する少し前にシャッターボタンを押すと、被写体が撮影距離に達した時にシャッターを切ることができます。
- 被写体の手前にある物にピントが合ってしまうようなトラブルを防ぐことができます。

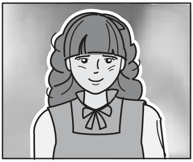


シーン機能を使った撮影

■人物を撮影しよう(ポートレートモード [ポートレートアイコン])

ポイント:

- 目立つものが背景にないように注意する
- なるべく被写体に近づく
- 人物に当たる照明に注意する



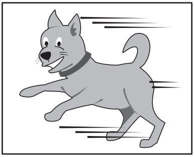
解説:

- 背景に目立つものがある場合は、人物が引き立ちません。そこで、被写体に近づいたりズームアップして、背景が目立たないように撮影すると良いでしょう。
- ポートレート撮影では人物が主役になるので、人物が引き立つように撮影します。
- 逆光では顔が暗く写るので、フラッシュを使ったり露出を補正して撮影しましょう。

■動きのあるものを撮影しよう(スポーツモード [スポーツアイコン])

ポイント:

- 被写体の動きにカメラを合わせる
- ズームはWide(広角)側に
- チャンスには、ためらわずにシャッターボタンを押す



解説:

- シャッターチャンスを逃さないように、カメラを正しく構え、常に被写体をレンズに捉えておきましょう。カメラとともに自分の体を動かしながら撮影してみるのも良いでしょう。
- 手ぶれは、Wide側よりTele側の方が出やすいので、ズームはできるだけWide側にして撮影します。
- シャッターチャンスが来たら、すばやくスムーズにシャッターボタンを押しましょう。

■夜景を撮影しよう（夜景モード [夜景モードアイコン]）

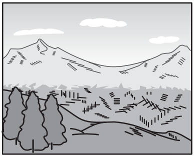
ポイント：
- 手ぶれに十分気を使う
- ISO感度を上げる



解説：
- 夜景撮影では、シャッタースピードが遅くなるため、手ぶれが起きる可能性が高くなります。三脚を使うか、三脚がない場合は壁や柱を利用して、カメラを固定して撮影してください。
- 夜景を背景にして人物を撮影する場合は、フラッシュで人物の顔が明るくなり過ぎないよう、人物に近づき過ぎない距離で撮影してください。
- フラッシュ発光後、約2秒間は、カメラを動かしたり被写体の人物が動かないようにしてください。

■風景を撮影しよう（風景モード [風景モードアイコン]）

ポイント：
- 高画質で撮影する
- ズーム撮影する場合は、光学ズームを使う
- 構図に配慮する



解説：
- 広角で撮影する場合や引き伸ばして写真にする場合は、なるべく高い解像度で撮影してください。
- 遠くの風景をアップで撮影する場合は、なるべく光学ズームで撮影してください。デジタルズームを使うと、画像が荒れます。また、脇をしめてしっかりとカメラを構え、手ぶれしないように気をつけてください。三脚などでカメラを固定すると良いでしょう。
- 遠近感や風景の中のポイントとなる被写体の配置など、構図に注意しましょう。

http://www.sanyo-dsc.com/

三洋電機株式会社

パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

1AG6P1P3288--
SX81W/J（0806HS-CA）

PRINTED WITH SOY INK ™
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。